Greco®

# The Mint Collection

# 6ブロック先で
# このギターのデビューを聞いた。

モニュメントバレイへ続く田舎道を
盛大に砂煙を巻き上げながら
フォードの68年型ピックアップトラックが近づいてくる。
石油が枯渇したために廃屋となった村の取りこわしに出かけた連中の車なのだ。
キャブイエローとライムグリーンに塗り分けられたキャビンから
日に焼けた二人が降りてきた。
荷台の廃材の陰に3、4本のギターケースが見える。
とても古そうだが傷一つない。
彼らの話では以前楽器店を開いていたことのある家の
バックルームから出てきたものだという。
逃げるようにして出て行ったその家の持主には家財をかたずける暇もなかったらしい。
1959年10月9日付の"NEW YORK TIMES"でくるまれたそのケースを開けると
全く"BRAND NEW"のまま
おそらくただの一度も日の光さえ浴びてはいなかったであろう
ギターが出てきたのだ。
メーカーの保証書、付属品もそのままに長い年月の間、
忘れ去られていたギター達が
武骨な男達の腕に今はじめて抱かれたのだ。

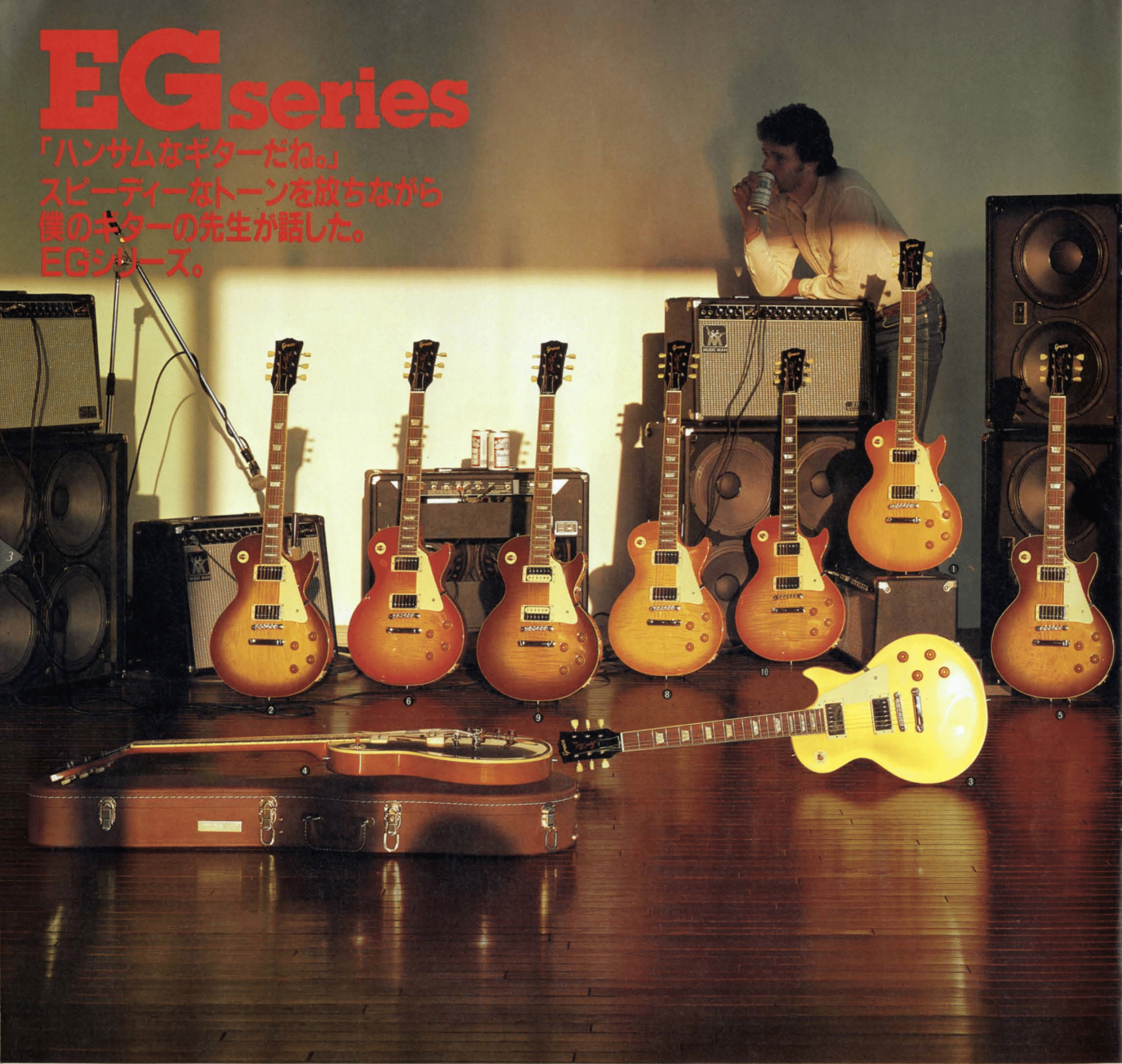
"MINT"全米のギターコレクター達が
目を輝かせて語り合う最高保存状態のオールドギター。
20数年前、工場の扉から
旅立ったそのままの姿で今発掘されるギター達を
彼らは誇りを持って"MINT"と呼ぶ。

秀れたコンディションのオールドギターを
現代に甦らせること。
多くのギタープレイヤーが
我々の自信作を手に取り微笑んでくれること。
ミントコレクションが成し遂げようとするのはこのことだ。
このカタログはいわゆる商品説明としては
あまり価値のないものかも知れない。
売り込むだけが我々の仕事なら最初から失格しているのだ。
ギターを知っていただきたい。
ものの良否をわかってもらいたい。
そして何より我々の思想を理解していただくための
マニュアルとしてこのブックレットを手にして欲しいとグレコは思うのだ。

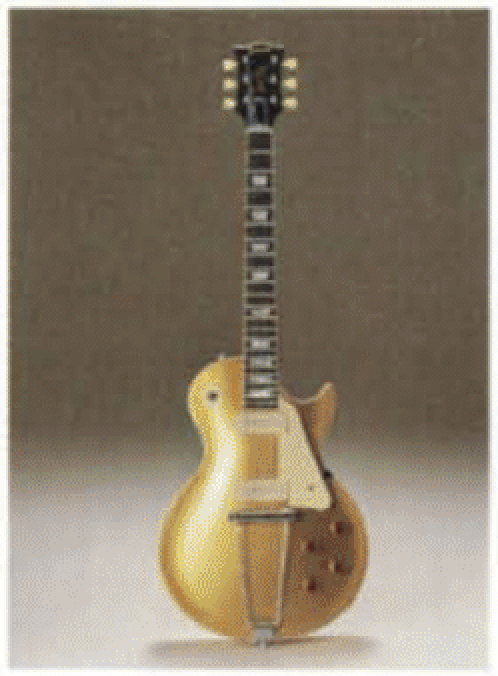
写真はEG59-100CRSです。

# EGseries

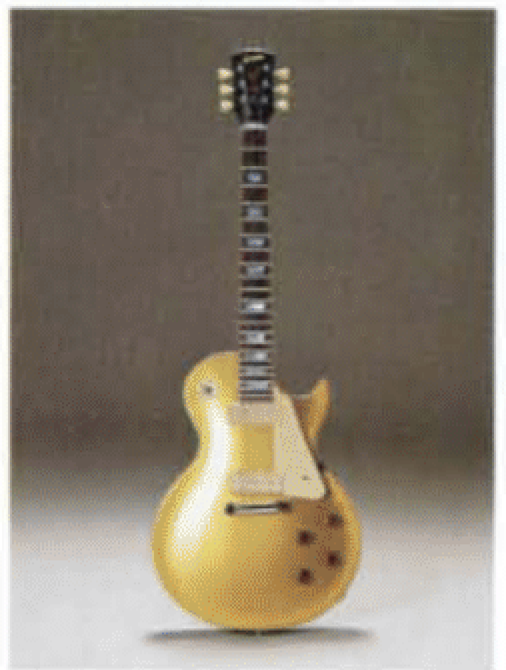
「ハンサムなギターだね。」
スピーディーなトーンを放ちながら
僕のギターの先生が話した。
EGシリーズ。



## EG52-G
★参考品



## EG54-G
★参考品



## ①EG59-45
GUITAR ¥45,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―メイプル、バック―マホガニー●ピックアップ=SCREAMIN×2●ピックガード=クリーム1プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ=ポリエステル塗装 ●カラー=CRS、FBS、LDS、EB

## ②EG59-50
GUITAR ¥50,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―メイプル、バック―マホガニー ●ピックアップ=SCREAMIN×2●ピックガード=クリーム1プライ ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース =亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ=ポリエステル塗装●カラー=CRS、FBS、LDS

## ③EG57-50
GUITAR ¥50,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ミディアムラウンドタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―メイプル、バック―マホガニー3ピース●ピックアップ=SCREAMIN×2 ●ピックガード=クリーム1プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ=ポリエステル塗装●カラー=G

## ④EG56-60
GUITAR ¥60,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ミディアムラウンドタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ==トップ―メイプル、バック―マホガニー●ピックアップ=HOT LICK×2●ピックガード=クリーム1プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ=ポリエステル塗装●カラー=G

## ⑤EG59-70
GUITAR ¥70,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―メイプル2ピース、バック―マホガニー2ピース●ピックアップ=DOUBLE TRICK×2●ピックガード=クリーム1プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=アルミダイキャスト●フィニッシュ=ポリエステル塗装●カラー=CRS、FBS、LDS

## ⑥EG59-85
GUITAR ¥85,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―フレイムグレインメイプルラミネート2ピース、バック―マホガニー2ピース●ピックアップ=DOUBLE TRICK×2●ピックガード=クリーム1プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=アルミダイキャスト●フィニッシュ=ラッカー塗装●カラー=CRS、FBS

## ⑦EG59-100
GUITAR ¥100,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―フレイムグレインメイプルラミネート2ピース、バック―マホガニー2ピース●ピックアップ=DRY×2●ピックガード=クリーム1プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=アルミダイキャスト●フィニッシュ=ラッカー塗装●カラー=CRS、FBS

## ⑧EG58-120
GUITAR ¥105,000
CASE ¥15,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ミディアムラウンドタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―フレイムグレインメイプルラミネート2ピース、バック―マホガニー2ピース●ピックアップ=DRY×2●ピックガード=クリーム1プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=アルミダイキャスト●フィニッシュ=ラッカー塗装●カラー=FBS、LDS

## ⑨EG60-150
GUITAR ¥150,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―フレイムグレインメイプル単板2ピース、バック―マホガニー2ピース●ピックアップ=DRY×2(オープン)●ピックガード=クリーム1プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=アルミダイキャスト●フィニッシュ=ラッカー塗装●カラー=CRS、FBS

## ⑩EG60-180
GUITAR ¥180,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18°●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドパケットタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―フレイムグレインメイプル単板2ピース、バック―マホガニー2ピース●ピックアップ=DRY×2●ピックガード=クリーム1プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=アルミダイキャスト●フィニッシュ=ラッカー塗装●カラー=CRS、FBS

# EGC·EJR series

## 「スリリングで自然なサウンドだよ。」と試奏したミュージシャン IQの高いギター。EGC&EJR。

### ①EGC68-50
GUITAR ¥50,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=ラージヘッド●ヘッド角度=14° ●ペグ=クルーソンタイプMH-E5G ●ナット=牛骨●指板=ローズウッド（エボニーブラック染）●ポジションマーク=アクリル貝ブロックタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―メイプル、バック―マホガニー●ピックアップ=SCREAMIN×2●ピックガード=黒白4プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ブラックソンブレロノブ ●トーン=2トーン、ブラックソンブレロノブ ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ=ポリエステル塗装●カラー=CRS、VS、EB

### ②EGC57-60
GUITAR ¥60,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=ラージヘッド●ヘッド角度=18° ●ペグ=クルーソンタイプMH-E5G ●ナット=牛骨●指板=ローズウッド（エボニーブラック染）●ポジションマーク=アクリル貝ブロックタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=マホガニー単板3ピース●ピックアップ=SCREAMIN×3●ピックガード=黒白4プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ブラックフライングソーサーノブ ●トーン=2トーン、ブラックフライングソーサーノブ ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ=ポリエステル塗装●カラー=EB

### ③EGC68-80
GUITAR ¥80,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=ラージヘッド●ヘッド角度=14° ●ペグ=クルーソンタイプMH-EGC ●ナット=牛骨●指板=エボニー●ポジションマーク=白蝶貝ブロックタイプ●フレット=ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=トップ―メイプル2ピース、バック―マホガニー2～3ピース●ピックアップ=DOUBLE TRICK×2●ピックガード=黒白4プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ブラックソンブレロノブ ●トーン=2トーン、ブラックソンブレロノブ ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ=ラッカー塗装●カラー=CRS、VS、EB

### ④EGC58-100
GUITAR ¥100,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=ラージヘッド●ヘッド角度=18° ●ペグ=クルーソンタイプMH-EGC ●ナット=牛骨●指板=エボニー●ポジションマーク=白蝶貝ブロックタイプ●フレット=ミディアムラウンドタイプ（セミフレットレスワンダー）●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=マホガニー単板2ピース●ピックアップ=THE GROOVE×2●ピックガード=黒白4プライ●セレクタースイッチ=3ポジショントグルスイッチ●ボリューム=2ボリューム、ブラックフライングソーサーノブ ●トーン=2トーン、ブラックフライングソーサーノブ ●ブリッジ=チューンOマチック、サドル―ブラス●テールピース=アルミダイキャスト●フィニッシュ=ラッカー塗装●カラー=EB

### ⑤EJR54-50
GUITAR ¥50,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18° ●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-SS5●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドドットタイプ●フレット=ミディアムラウンドタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=マホガニー●ピックアップ=HOT LICK×1●ピックガード=ブラック1プライ●ボリューム=1ボリューム、※ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=1トーン、※ゴールドフライングソーサーノブ●テールピース=亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ=ポリエステル塗装●カラー=YS、W、LM
※ボディカラーがWの場合は、ゴールドスピードノブ。

### ⑥EJR59-50D
GUITAR ¥50,000

●ネック=マホガニーワンピース●ヘッド=スモールヘッド●ヘッド角度=18° ●ペグ=オールドクルーソンタイプMH-SS5●ナット=牛骨 ●指板=ローズウッド●ポジションマーク=パーロイドドットタイプ●フレット=ミディアムラウンドタイプ●ネックジョイント=L.A.C.ジョイント●ボディ=マホガニー●ピックアップ=HOT LICK×1●ピックガード=ブラック1プライ●ボリューム=1ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン=1トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●テールピース=亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ=ポリエステル塗装●カラー=CH、LM

### ①SS63-50
GUITAR ¥50,000

●ネック＝マホガニーワンピース●ヘッド＝スモールヘッド●ヘッド角度＝18°●ペグ＝オールドクルーソンタイプMH-SS5●ナット＝牛骨●指板＝ローズウッド●ポジションマーク＝パーロイドドットタイプ●フレット＝ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント＝L.A.C.ジョイント●ボディ＝マホガニー●ピックアップ＝HOT LICK×2●ピックガード＝黒白4プライ●セレクタースイッチ＝3ポジショントグルスイッチ●ボリューム＝2ボリューム、トップメタルソーサーノブ●トーン＝2トーン、トップメタルソーサーノブ●テールピース＝亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ＝ポリエステル塗装●カラー＝CH、W

### ②SS63-70
GUITAR ¥70,000

●ネック＝マホガニーワンピース●ヘッド＝ラージヘッド●ヘッド角度＝18°●ペグ＝オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット＝牛骨●指板＝ローズウッド●ポジションマーク＝パーロイドバケットタイプ●フレット＝ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント＝L.A.C.ジョイント●ボディ＝マホガニー●ピックアップ＝DOUBLE TRICK×2●ピックガード＝黒白4プライ●セレクタースイッチ＝3ポジショントグルスイッチ●ボリューム＝2ボリューム、トップメタルソーサーノブ●トーン＝2トーン、トップメタルソーサーノブ●ブリッジ＝チューンOマチック、サドルーブラス●テールピース＝デラックスバイブローラアームタイプ●フィニッシュ＝ポリエステル塗装●カラー＝CH

### ③SA63-60
GUITAR ¥60,000

●ネック＝マホガニーワンピース●ヘッド＝スモールヘッド●ヘッド角度＝18°●ペグ＝オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット＝牛骨●指板＝ローズウッド●ポジションマーク＝パーロイドブロックタイプ●フレット＝ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント＝L.A.C.ジョイント●ボディ＝セレクテッドバーチ●ピックアップ＝SCREAMIN×2●ピックガード＝黒白4プライ●セレクタースイッチ＝3ポジショントグルスイッチ●ボリューム＝2ボリューム、トップメタルソーサーノブ●トーン＝2トーン、トップメルソーサーノブ●ブリッジ＝チューンOマチック●テールピース＝亜鉛ダイキャスト●フィニッシュ＝ポリエステル塗装●カラー＝S,CH

### ④SA61-90
GUITAR ¥90,000

●ネック＝マホガニーワンピース●ヘッド＝スモールヘッド●ヘッド角度＝18°●ペグ＝オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット＝牛骨●指板＝ローズウッド●ポジションマーク＝パーロイドタイプ●フレット＝ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント＝L.A.C.ジョイント●ボディ＝3Mトリプレックスウッド●ピックアップ＝THE GROOVE×2●ピックガード＝黒白4プライ●セレクタースイッチ＝3ポジショントグルスイッチ●ボリューム＝2ボリューム、トップメタルソーサーノブ●トーン＝2トーン、トップメタルソーサーノブ●ブリッジ＝チューンOマチック、サドルーブラス●テールピース＝アルミダイキャスト●フィニッシュ＝ラッカー塗装●カラー＝S、CH

### ⑤SA59-120
GUITAR ¥102,000
CASE ¥18,000

●ネック＝マホガニーワンピース●ヘッド＝スモールヘッド●ヘッド角度＝18°●ペグ＝オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット＝牛骨●指板＝ローズウッド●ポジションマーク＝パーロイドドットタイプ●フレット＝ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント＝L.A.C.ジョイント●ボディ＝バーズアイ3Mトリプレックスウッド●ピックアップ＝DRY×2●ピックガード＝黒白4プライラージタイプ●セレクタースイッチ＝3ポジショントグルスイッチ●ボリューム＝2ボリューム、ゴールドフライングソーサーノブ●トーン＝2トーン、ゴールドフライングソーサーノブ●ブリッジ＝チューンOマチック、サドルーブラス●テールピース＝アルミダイキャスト●フィニッシュ＝ラッカー塗装●カラー＝S、N

### ⑥FV64-80
GUITAR ¥80,000

●ネック＝マホガニーワンピース●ヘッド角度＝14°●ペグ＝オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット＝牛骨●指板＝ローズウッド●ポジションマーク＝白蝶貝ドットタイプ●フレット＝ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント＝L.A.C.ジョイント●ボディ＝マホガニー●ピックアップ＝DOUBLE TRICK×2●ピックガード＝白黒3プライ●セレクタースイッチ＝3ポジショントグルスイッチ●ボリューム＝2ボリューム、トップメタルソーサーノブ●トーン＝2トーン、トップメタルソーサーノブ●ブリッジ＝チューンOマチック、サドルーブラス●テールピース＝デラックスバイブローラアームタイプ●フィニッシュ＝ポリエステル塗装●カラー＝M、W

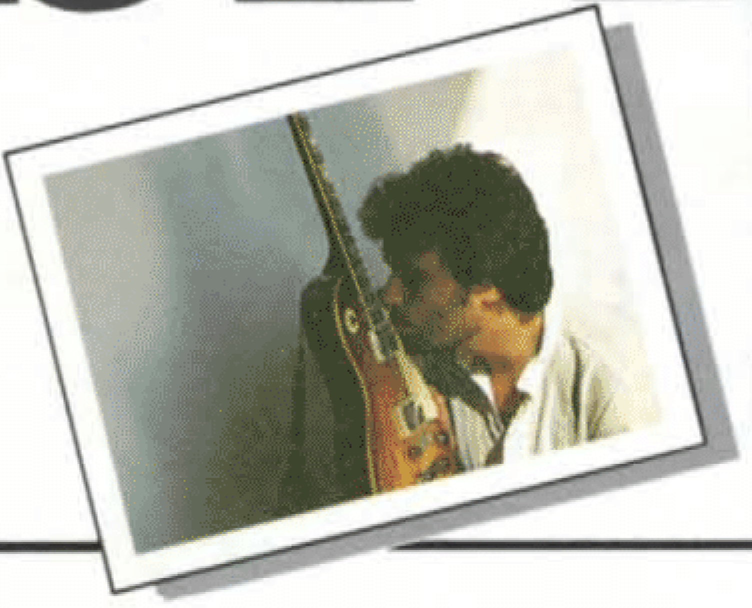
### ⑦FA67-70
GUITAR ¥70,000

●ネック＝マホガニーワンピース●ヘッド＝スモールヘッド●ヘッド角度＝18°●ペグ＝オールドクルーソンタイプMH-EGS1●ナット＝牛骨●指板＝ローズウッド●ポジションマーク＝アクリル貝ツインパラレルスクウェアタイプ●フレット＝ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント＝セットネック●ボディ＝3Mトリプレックスウッド●ピックアップ＝THE GROOVE×2●ピックガード＝黒白4プライ●セレクタースイッチ＝3ポジショントグルスイッチ●ボリューム＝2ボリューム、ソンブレロノブ●トーン＝2トーン、ソンブレロノブ●ブリッジ＝木台、チューンOマチック、サドルーブラス●テールピース＝アルミダイキャスト●フィニッシュ＝ポリエステル塗装●カラー＝S、N

### ⑧TB64-80
BASS ¥80,000

●ネック＝マホガニーワンピース●ヘッド角度＝14°●ペグ＝MH-T8●ナット＝牛骨●指板＝ローズウッド●ポジションマーク＝パーロイドドットタイプ●フレット＝ワイドオーバルタイプ●ネックジョイント＝セットネック●ボディ＝マホガニー●ピックアップ＝PU-TB●ピックガード＝白黒2プライ●ボリューム＝1ボリューム、ゴールドトップメタルソーサーノブ●トーン＝1トーン、ゴールドトップメタルソーサーノブ●ブリッジ＝BR-EB●テールピース＝TP-TB●フィニッシュ＝ポリエステル塗装●カラー＝S

# SPECIAL NOTE



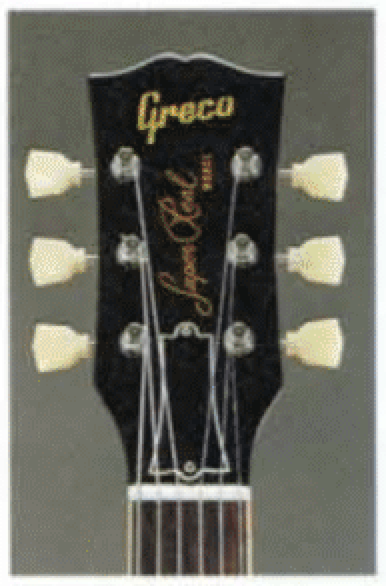
我々は、何百人ものプロやアマチュアのギタープレイヤーとのインタビューの中で彼らの愛用するギターを必ずと言っていいほど見せてもらう。ピカピカに磨き込まれたギター、傷だらけで相当使い込まれたギター、どれも相応の風格を持っている。しかし その時にいつも 驚かされるのが、彼らのギターブランドに対する半ば盲目的な信仰であり、ギター構造に対する間違った理解である。事実あるギタープレイヤーは、自分の好みのトーンを出すために悪戦苦闘していた。彼の好みのトーンを理解した我々は彼のギターをいちべつしてその理由を指摘することができた。そして我々の簡単なサジェスションでそのギターが完璧に彼の好みの物になったことは言うまでもない。

我々は常に何がどのように音と関係し組織立っているのかに最大の注意を払っている。ブリッジひとつにしても形状がどうだ、材質がどうだということは基本的な事であって、それを踏まえての総合的な見方ということが最も重要なポイントとなってくるのである。そういう意味でここに記された数々のノートはそれ自体の意味をはるかに越えたところで我々の音に対するノウハウと結びついているのである。そのひとつひとつの詳細を載せ、知って頂きたいのだが、残念なことにそれはいまだにトップシークレットなのだ。

# EG series

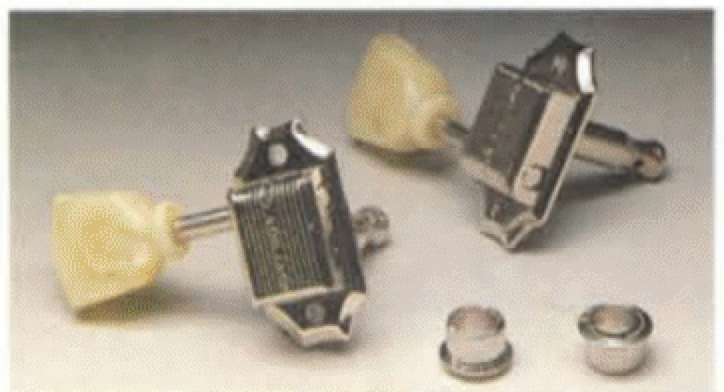
### ヘッド〔Head〕

GRECOのオールドロゴとSuper Realのイタリックがひときわ目立つオールドタイプのスモールヘッドストック。サウンド作りに大きな影響をおよぼすヘッドアングルは全機種に18°アングルを採用。(56年製モデル〜60年製モデルを調査した上で決定）ヘッドアングルに加えて、ヘッドがサウンドに影響を与えるのが表面にラミネイトされたメイプルツキ板なのだ。このメイプルツキ板の厚みで微妙にサウンド変化が起こるのだ。グレコではこのメイプルツキ板にオリジナルと共通の0.7㎜板を採用!ルックス面から見ても最高の出来映えだ。(他社はぶ厚いツキ板を貼ったり、ひどい物はツキ板無しで塗装でごまかしてあるものまであるので注意して見てほしい。)

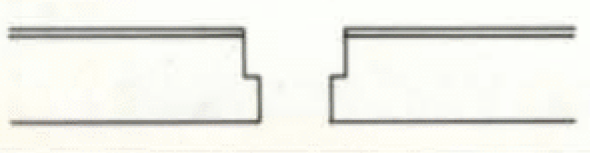


### ペグ〔Complete Key Assembly〕

チューニングは楽器の命とも言われる通り、チューニングが狂ってはどうしようもない。グレコEGシリーズには、完璧なオールドクルーソンタイプを使用。マテリアルからデザインまでパーフェクトな再現に成功。本体の素材には鉄とブラス、ノブにはパーロイド〔Pearlloid〕。もちろんプッシュタイプだ。ここで注意していただきたいのがオールドクルーソンタイプにも2種類のノブ形状があるということ。シングルフランジ〔Single flange〕とダブルフランジ〔Double flange〕で、(俗に言う1コブ2コブのこと）これは年代によって変ってきているのだ。シングルフランジは61年までで、あとはダブルになる。このことから当然EGシリーズには全機種シングルフランジを採用している。細かい事だがやはりここまで見てもらいたい。しかしやはり一番注目してもらいたいのが、ペグ取り付け穴の加工方法だ。これはぜひ、ペグをはずしてでも見ていただきたい。グレコプロジェクトチームが開発した"ダブルシリンダー加工"がそれで、ガッチリとペグをホールドしているのがわかるはずだ。他社の加工は同径でぶちぬかれているため、半年程度の使用にもガタを生じ、チューニングに悪影響を与えている。"ダブルシリンダー加工"により、ガタ、きしみともおさらばしたグレコギターで思い切りプレイしてくれたまえ。



**グレコダブルシリンダー加工**



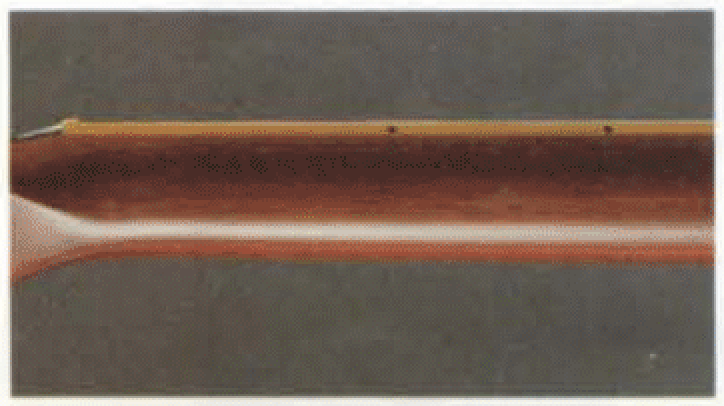
### シリアルナンバー〔Serial Number〕

ヘッド裏面に押されたシリアルナンバーは、ブラックインクによるラバースタンプだ。ちょっとくずれたようなラバースタンプの味がオールドでなんともいえずいい雰囲気だ。ここまでやってるのはグレコだけ。

### ネック〔Neck〕

**●43-53グリップ**〔43-53 Grip〕

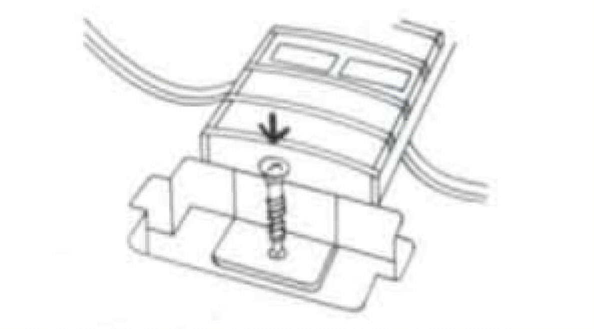
ネックはマホガニーワンピースEarly 50's Neck。(EG56-60以下のコストパフォーマンスを考えたモデルを除く）59年製のスリムネックをパーフェクトに再現。ネックの幅はネーミングが示す通りナットのところで43㎜、12フレットで52.5㎜でキミの手にジャストフィットするタイプだ。ローポジションからハイポジションまでスムーズな指運びができることうけあい。また強度、音の伝達ということにおいてもグレコワンピースネックは材料の選択、シーズニング、加工のどの部分においても他を完全に圧倒。細心のクラフツマンシップがその出来映えを保障する。



### ●L.A.C.ジョイント

〔Large Area Contact Joint〕

まず写真を見ていただきたい。結論から言ってしまうと、右がグレコのネックジョイント方法で、この方法こそがオリジナルスタンダードの方法なのだ!!これをグレコは新たに"L.A.C.ジョイント"と名づけ"ザ・ミントコレクション"の全てのモデルに採用。ご覧になってお解りになると思うが、写真上の従来のジョイント方法と比べ、ボディとの接触面に格段の差があるのだ。接触面すなわち接着面が大きいということはギターにとって多くの面で好影響があるのだ。まず誰にでもわかることが接着強度が高いということ、このことはギターを弾く人にとって大きな安心感となる。その他、ガッチリとジョイントされているため音の伝達ということにおいても優れているし、ジョイント部分の精度に関してもコンマミリ単位というパーフェクトなものだ。ちなみにこの接着面の大きさを悪い例と比較してみるとA社の接着面を100とした場合、グレコのL.A.C.ジョイントは約220もの面積があるのだ。!! この素晴しいL.A.C.ジョイントをやっているのは、グレコとオリジナルだけだ!!ネックジョイントということで、ここで参考までに、従来のジョイント方法をもう一つ載せておこう。図をひと目見て気が付いた人もいると思うが、これはあるメーカーの高級イメージで売られているギターのネックセット部分で、接着したのちネジで止めているのだ。ネジ止めだと加工が簡単で手間がかからない、ということは安くつくということだが、倍音吸収や共振点の移動などによりセットネック式エレキギター本来のタイトなサウンドが望めないばかりか、強度の点からもよくないのだ。ぜひ注意して見てもらいたい。



**悪い例のネジ止めセットネック!!**

### 指板〔Fingerboard〕

"ザ・ミントコレクション"EGシリーズの全機種にローズウッド指板を採用。弾きやすさを追求したスペシャル仕様になっている。まずローズウッド特有のヤニを特殊処理で抜き取ったあと、数段階にもおよぶサンダー加工をほどこすという徹底ぶりはグレコにだけできるクラフトワークだ。最終段階のサンダーの番手は他社のおよびもつかないものでやることによりフィンガリング、チョーキングの際にはっきりと差が出てくるのだ。そして注目すべきことは、指板をグルー(にかわ)接着していること。時間と手間のかかるグルー接着をあえてグレコがやっているのは、あくまでも音質を重視したからである。

### フレット〔Frets〕

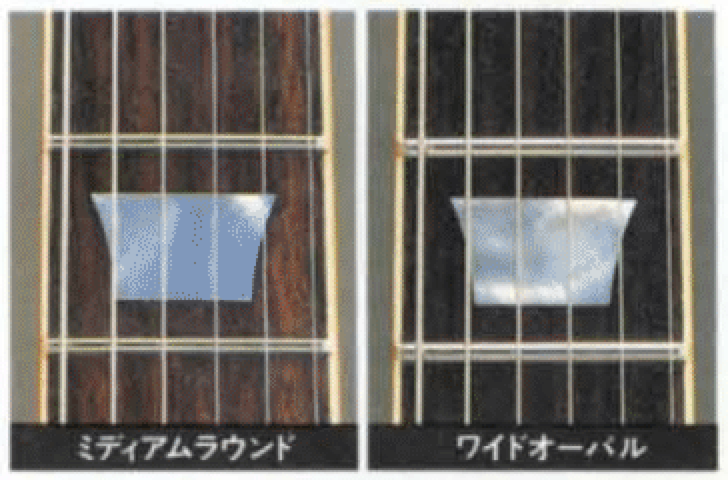
フレットはモデルにより、2タイプを用意。

**●ミディアムラウンド**〔Medium Round〕

EG-56、57、58モデルに使用。俗に細フレットと呼ばれているもので、オールドの雰囲気ムンムンだ。幅2㎜ 高さ0.7㎜のフレット。

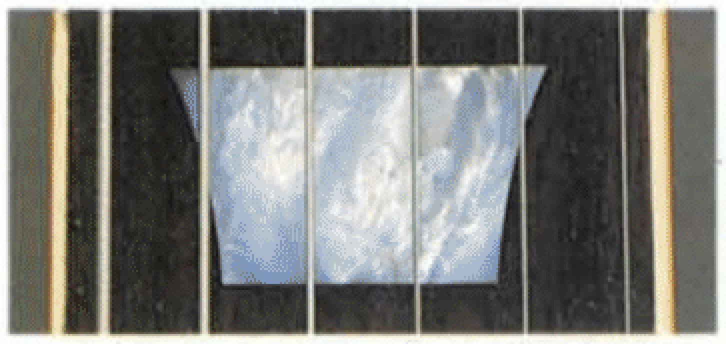
**●ワイドオーバル**〔Wide Oval〕

EG-59、EG-60モデルに使用されているもので幅2.7㎜高さ0.9㎜のフレット。ミディアムラウンドに比べて幅が広く、フィンガリング、チョーキングもスムーズにきまるプレイアビリティの優れたものだ。



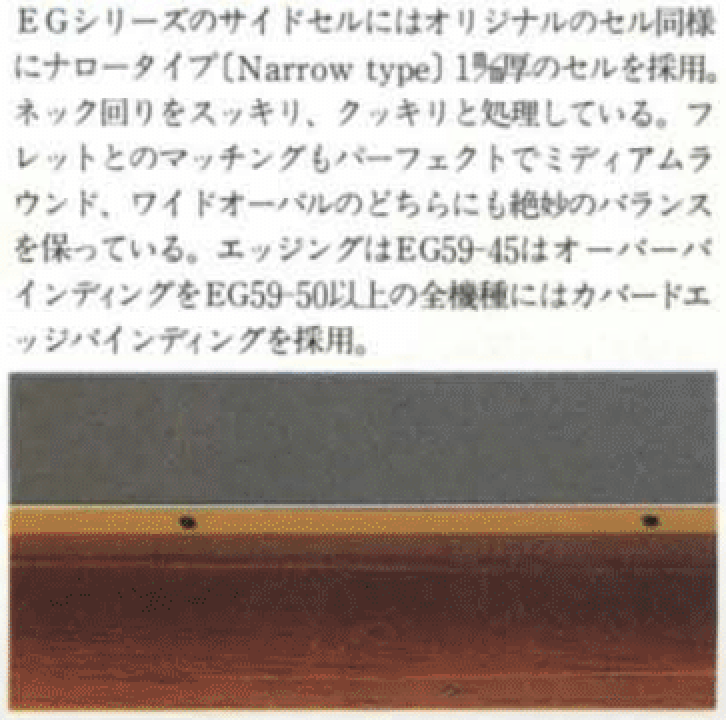

### ポジションマーク〔Position Markers〕

ポジションマークはEGシリーズ全モデルにバケットスタイル〔Bucket style〕のパーロイドマークを採用。サイドポジションマークはこれまたオリジナルと共通の2.0㎜φのラージポイントで、見やすくルックスもバッグンのすぐれたものだ。



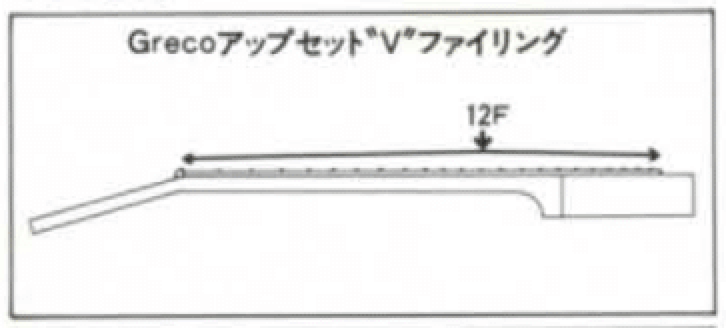
### サイドバインディング〔Side Binding〕

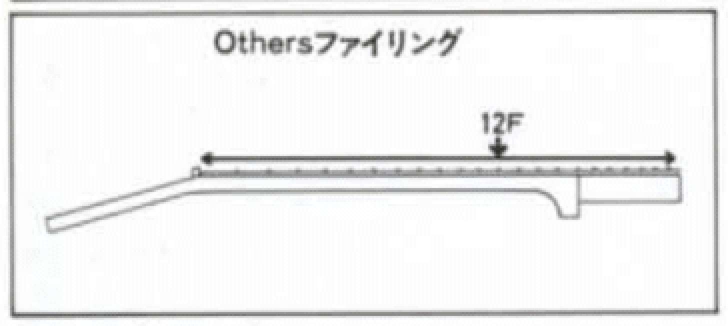
EGシリーズのサイドセルにはオリジナルのセル同様にナロータイプ〔Narrow type〕1㎜厚のセルを採用。ネック回りをスッキリ、クッキリと処理している。フレットとのマッチングもパーフェクトでミディアムラウンド、ワイドオーバルのどちらにも絶妙のバランスを保っている。エッジングはEG59-45はオーバーバインディングをEG59-50以上の全機種にはカバードエッジバインディングを採用。



## フレットファイリング〔Frets Filing〕

グレコでは、フレット仕上げの最終段階でもっとも重要なファイリング作業において独自の方法を導入、名づけてアップセット"V"ファイリング〔Upset "V" filing〕。これはネックの中起防止に対処するものでザ・ミントコレクション全機種に採用している。グレコではネック管理に細心の注意とチェックを行ない、もちろんこれがベストだという状態のネックしか使用しないのだが、ギターを使用する環境などでネックにソリが出た場合、ロッドで調整するわけだが、その時によく起こりやすいのがハイポジションにおいての弦のビビリだ。他社はファイリングを1フレットから22フレットまで直線でやっているためビビリがどうしても出てくるのだが、グレコのアップセット"V"ファイリングは、12フレットを頂点にして逆Vの字型でファイリングしているため、ロッド調整をしてもビビリが出ないのだ。このファイリングは他社のファイリングに比べて時間も2倍以上もかかり、すぐれた技術が必要なのだ。このことを取ってみてもグレコでは見かけだけの製品を作るのではないということがわかっていただけると思う。



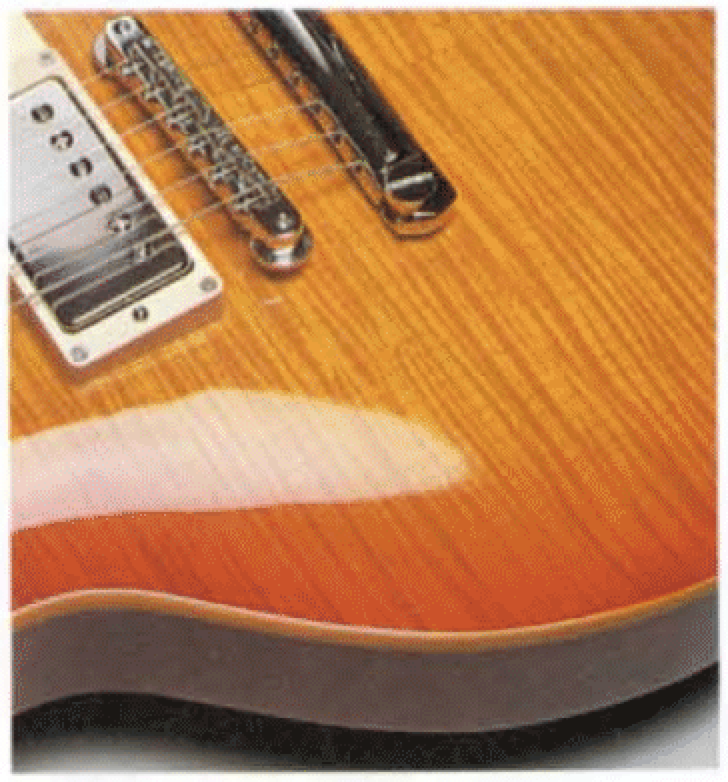

## ボディ〔Body〕

ギターの良否を決めてしまうといっても過言ではないほど重要なのがボディだ。グレコではオリジナルを徹底分析、研究を重ね、同時にグレコプロジェクトチームが今までつちかってきたノウハウを持って開発したのがこのザ・ミントコレクションだ。世界でも希少なフレイムグレイン。それも厳選したものを単板2ピースブックドマッチングでトップに、そしてバックにはマホガニー単板を採用したEGシリーズの最高峰のEG60-180、60-150、まさにグレコ・ザ・ミントコレクションのステイタスシンボルにふさわしい超豪華仕様だ。

EG58-120はメイプル2ピースにフレイムグレインメイプルをラミネートしたトップ、バックにはこれまたマホガニー単板2ピースを採用したオリジナルもまっ青なスペシャルスペックのハイグレードボディとなっている。オールマイティにミュージックシーンにその魅力を偉観なく発揮することは間違いない。ハードからジャージーなソロまでキミの思い通りのフレーズに確実に反応するザ・ミントコレクションEGシリーズはまさにスーパーリアルだ。ボディシェイプも、オールドスタンダードを徹底的に研究したものであり、見るからに美しいアーチドトップのフォルムにため息の出ること受け合い。また、あるメーカーはピックアップをマウントしてある中央部を完全なフラットトップになっていると豪語しているが、グレコプロジェクトチームの調査の結果、完全なフラットトップのスタンダードなど存在しなかったことを付け加えておこう。

## ボディバインディング〔Body Binding〕

流れるようなボディラインをいっそう引き立てるのがボディバインディングだ。グレコではこのセルにオリジナル同様2.5㎜厚の物を使用。



EG59-50CRS

## ピックアップ〔Pickups〕

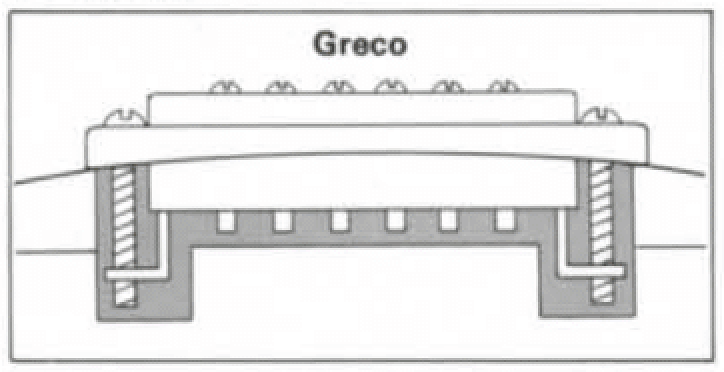
パーフェクトなボディ、ネック、ブリッジなどとベストマッチングを充分配慮された自社開発生産の優れたピックアップ。下請パーツ工場で一貫生産された他社ピックアップとは一味も二味も違う。オリジナルと甲乙つけがたいと絶賛をあびているDRYはEG59-100以上の全機種に採用。EG60-150はDRYのオープンタイプでゼブラボビン(ボビンが白と黒)にスクエアウインドウがたのもしいかぎり……。強烈な腰の強さに加えてシャープさもバツグン。澄んだ抜けるようなハイトーンをみごとに再現した。ねばり、サステインもこれまでのハムバッカーのイメージを一新する充実したサウンドで、もうこれ以上のピックアップは無いという声があらゆる方面から聞けるほどのスグレ物だ。EG59-70以上の機種には新開発のDOUBLE TRICKを搭載。DRYの血を引くそのハムバッキングサウンドはアーリー50'Sそのものといった感じ。その他のEGシリーズ全機種にはコストパフォーマンス最高のSCREAMINをマウント。スペシャルボディとのマッチングも絶妙で、グッドフィーリングあふれるそのサウンドは、ジャンルを越えてミュージックシーンに鮮かに浮かびあがることだろう。そしてあのゴールドトップにマウントのシングルコイルHOT LICK。ハムバッカーとは一味違う、タイトでロングサステインのハイトーンがオリジナルを甦らせた。

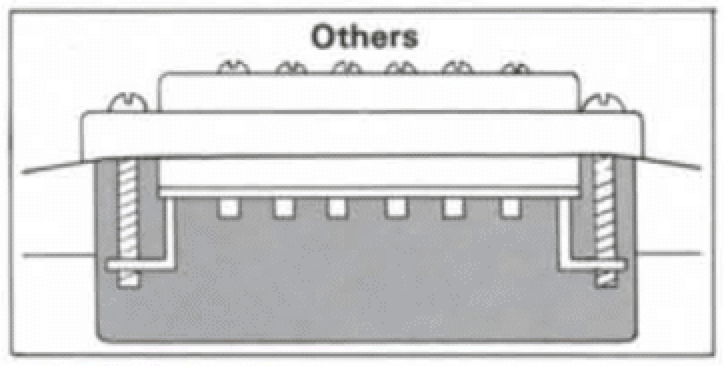
## エスカッション〔Escutcheon〕

フロント$\frac{1}{4}$inch、リア$\frac{1}{2}$inchの高さをもつエスカッションは、底辺がほぼフラットなオールドパーフェクトモデルだ。ボディのスペックのところでも述べた通り、ピックアップホール付近は完全なフラットではないので、エスカッションの底辺も完全なフラット仕様は存在しないのだ。現行モデルのエスカッションよりもかなり背の高いタイプなので、もしキミがオープンピックアップにした時もコイルをキミのハードなプレイからもパーフェクトにガードしてくれるので大安心物だ。

## ピックアップホール〔Pickup Hole〕

いくらボディ、ピックアップが良くなってもピックアップホールをいいかげんな加工でやるとそれこそ音質に大きな影響が出てくる。ソリッドボディの場合できればサウンド面から掘加工は全くやらないほうが良いのだが、ピックアップ、ブリッジ、ボリューム等どうしても開けないといけない部分が出てくる。そこで問題になるのが開け方だ。図を見てもおわかりになると思うが、他社のピックアップホールは、ピックアップアジャストネジの深さまでガバッと開けられているものがほとんどで、ボディの厚さの半分以上もえぐられた形になっている。これでは豊かな響きとロングサステインが得られる訳がない。グレコプロジェクトチームではオリジナルを徹底研究、必要最少限のホール加工にしてある。これにより、豊かな響きとロングサステインの再現に成功した。他社の大きなホール加工は単に作業が容易にできるということだけで、なんのメリットもないのだ。



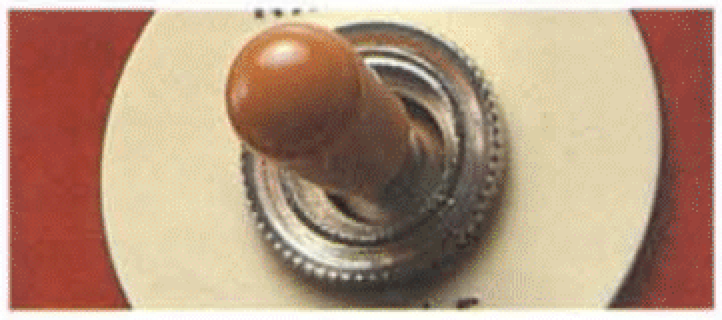




## コントロールノブ〔Control Knob〕

プレイヤーの微妙なコントロールを適確に伝えるノブには、オリジナルスタンダードの形状、材質を忠実に再現したパーフェクトなフライングソーサーノブを使用。カラーも経年変化によるアンバー色とゴールド色をみごとに再現している。ボディの50'Sカラーとのマッチングも最高!!

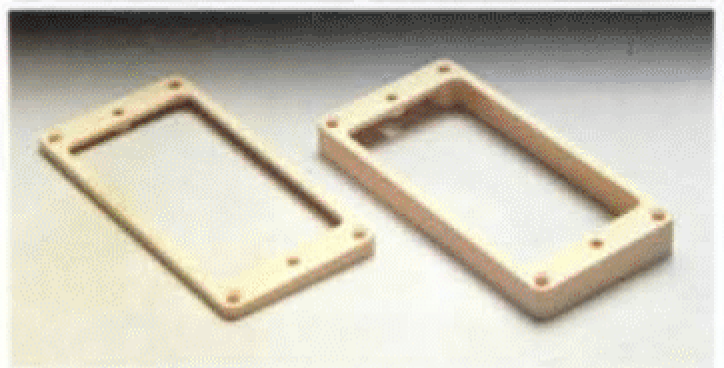
## スイッチノブ〔Switch Knob〕

スイッチノブもコントロールノブと同じく、アンバーカラーの渋いタイプ。スイッチ操作もスムーズそのもの。



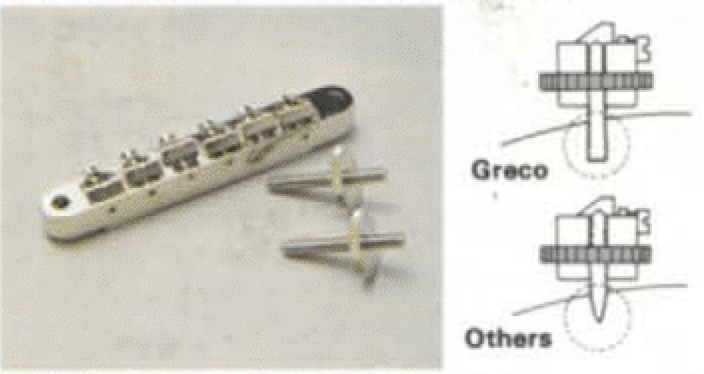
## スイッチプレート〔Switch Plate〕

まず注目していただきたいのがロゴだ。書体、大きさとも他社のものとは違うはずだ。これはグレコがオリジナルをパーフェクトに再現すべく新たに型起こしからやったもので、細かい部分なのだが、グレコは手を抜かないということの証明だ。他社の既成品とじっくりくらべてくれ。もちろん、材質、大きさ、厚みもすばらしい出来ばえだ。



## ブリッジ〔Bridge〕

ブリッジもパーフェクトな仕上がりで、ブリッジサドルの材質はブラス(真ちゅう)でその上にニッケルコーティングをほどこしたもので他社のブリッジに見られるようなブラスむき出しのルックスの悪いものとは比べものにならないみごとな仕上がりだ。もう一つ注目してもらいたいのがブリッジをささえるスタッドボルトだ。図を見てもらえばその差は歴然とするはずだ。他社のスタッドボルトは木ネジ状の物を使用(スタッドボルトというよりはスタッドスクリューといったほうがよい。)している。これは生産性に関しては非常にいいのだが(手間をはぶいている)スーパースリンキー等の極めて細い弦のテンションにさえ耐えられず、グラツキが生じやすく、サステインもブリッジがガッチリホールドされていないため多くを望めないのだ。これに対しグレコのスタッドボルトはガッチリとブリッジをささえ長期の使用にビクともしないタフな奴。どうぞ安心してプレイに打ち込んでほしい。




## テールピース〔Tail Piece〕

まず手に取って見てもらいたい。その軽さに驚かれると思うが、これがグレコスペシャルアルミダイキャストテールピースだ。(EG-70以上の機種に採用)形状はセンターのふくらみを少し後にずらした独特のものだ。これは現行モデルとはちがったオリジナルの大きな特徴の一つである。こういう細かな形状やシビアな材質選択などを徹底してやることはギターそのものの完成度の証明となりうるのだ。

## ジャック〔Output Jack〕

アウトプットジャックには新たにグレコプロジェクトチームが型起こししたクリームプレート、ワッシャをマウント。他社の既成品よりも一回り大きくオリジナルをパーフェクトに再現したものだ。ガタつきもなく耐久性にも優れたもので安心してプレイできる。

## ストラップピン〔Strap Button〕

もちろんグレコはストラップピン1つ取ってみても気を配っている。テールピース同様素材はアルミ、加工方法は削り出し、あの渋い輝きはここから生まれてくるのだ。

## カラー〔Colors〕

詳しくはカラー欄を見ていただきたいが、EGシリーズには、CRS、FBS、LDS、G、EBを用意。

**CRS**〔チェリーレッドサンバースト〕
素晴しい鮮度のブライトカラー。

**FBS**〔フェイドブラウンサンバースト〕
オリジナルでは時々見かける深いレッドの退色カラー。

**LDS**〔レモンドロップサンバースト〕
CRSの退色カラー。文字通り、レモンドロップの透明感のあるイエローサンバースト。

**G**〔ゴールド〕
どこかのブランドに塗られているドブネズミゴールドではない深く透明なイエローゴールド。オリジナルを見た人なら一目瞭然!

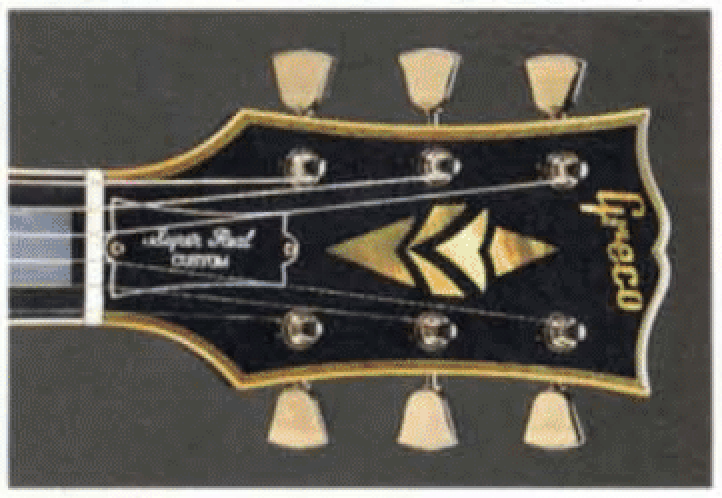
**EB**〔エボニーブラック〕
黒檀のしっとりしたツヤそのままのブラックカラー。同じブラックでもその輝きに差が出る。

# EGC series

EGC57-60EB

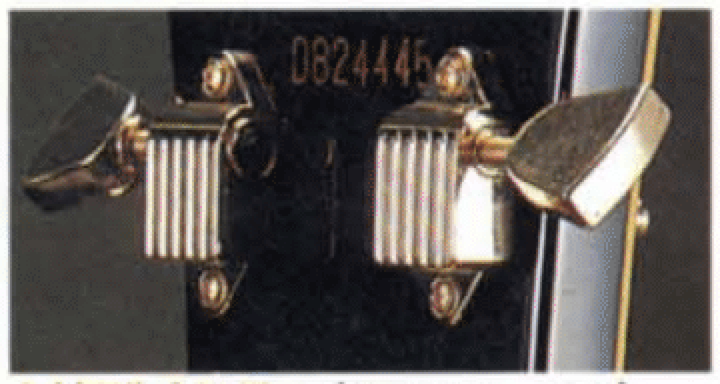
**ヘッド**〔Head〕

カスタム特有の雰囲気はまず美しくバインディングされたヘッドから生まれるのだ。白黒6プライで構成されたバインディングがヘッドを華麗に演出し、ヘッドストックインレイとバランスよく豪華な仕様となっている。ヘッドの角度は2タイプあり、EGC68-50、68-80は14°仕様で、EGC57-60、58-100が18°仕様になっている。



**ペグ**〔Complete Key Assembly〕

チューニングには絶対の信頼感があるグレコオールドクルーソンゴールドタイプを使用。楽器の生命ともいえるチューニングもパーフェクト。華麗なEGCシリーズのヘッドにベストフィット。ホール加工もEGシリーズと共通の"ダブルシリンダー加工"でガッチリとペグをホールド、ガタ、きしみのないスムーズなチューニングを可能にしたスペシャル仕様だ。

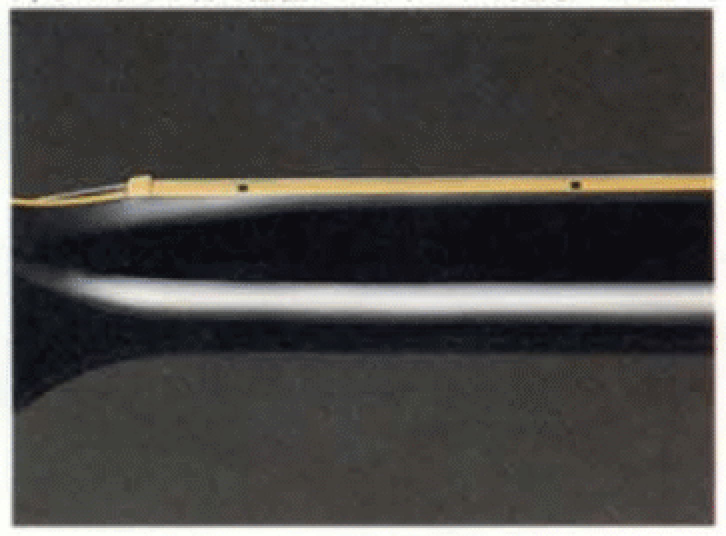


**シリアルナンバー**〔Serial Number〕

シリアルナンバーは、EGシリーズのラバースタンプによる表示に対し、EGCシリーズでは彫刻印による明確な表示になる。場所はEGシリーズと共通でヘッド裏に押してある。

**ネック**〔Neck〕

EGC68-80、EGC58-100には、EGシリーズ同様、音響特性、強度、耐久性とも優れたパーフェクトなマホガニー1ピースネックを採用。グリップは"43-53グリップ"でナットのところで43㎜、12フレットで52.5㎜幅のスリムネックでしっくりとキミの手になじむ事うけあいの極めつけだ。ネックジョイントはEGシリーズの頁で説明済の画期的な"L.A.C.ジョイント"をもちろんここでも採用。もうこれ以上のジョイント方法は、強度面、音響面の上から見てもないというグレコプロジェクトチームの自信作だ。フロントマイクを外してキミの目で他社のジョイントと見比べてほしい。

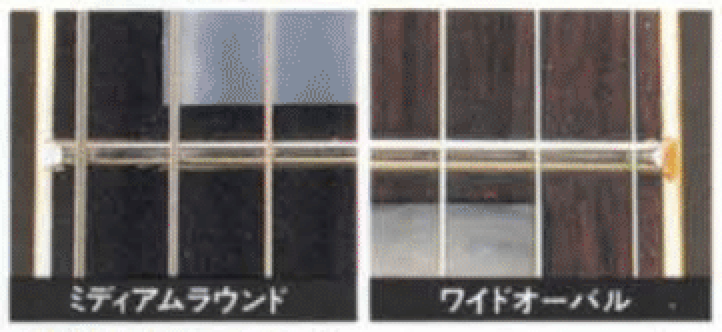


**指板**〔Fingerboard〕

EGシリーズのローズウッドに対し、EGCシリーズでは、EGC58-100、EGC68-80には本黒壇〔Ebony〕を使用、EGC57-60、EGC68-50にはコストパフォーマンスを考えたローズウッドのエボニーカラー仕上げだ。EGシリーズ同様すばらしい仕上げだ。そして指板の接着はグルー接着を採用している。音響的に見ても最良なことは言うまでもない。

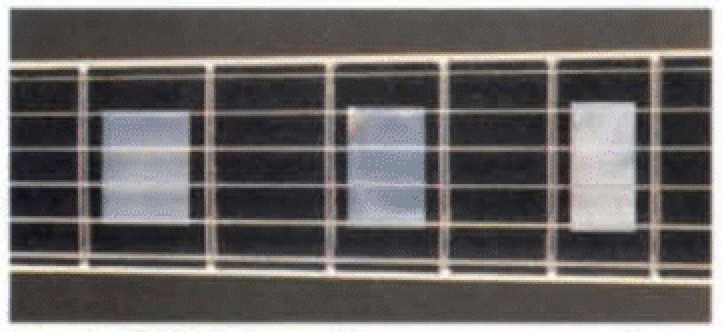
**フレット**〔Frets〕

EGC58-100にはミディアムラウンドタイプを、その他の機種にはワイドオーバルタイプを使用。中でもEGC58-100はあの"フレットレスワンダー"を彷彿させるセミフレットレスワンダー仕様になり、ボディのマホガニー単板エボニーブラック仕上げ、指板の本エボニー、ゴールドパーツなどと共にあの"ブラックビューティ"の誕生だ。




**ポジションマーク**〔Position Markers〕

ポジションマークは白蝶貝のブロックタイプ(EGC-58-100、EGC68-80)で本エボニーの指板にシャープに映える。特にステージ上での映えが最高でライトを受けた白蝶貝の輝きがなんとも言えなく素晴しい。

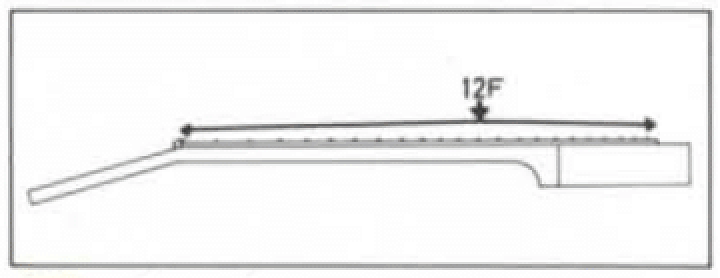


**サイドバインディング**〔Side Binding〕

ヘッドストックバインディングからボディシェイプへ流れるようなラインはEGCシリーズ全機種に採用の2㎜サイドバインディングによるものだ。EGシリーズのセルよりもひと回り太いタイプを採用することにより、より華麗な雰囲気を与えることに成功、指板のエボニーブラックとのメリハリの効いたネックになっている。

**フレットファイリング**〔Frets Filing〕

EGCシリーズ全機種にEGシリーズ同様、パーフェクトなファイリング方法である、"アップセット"V"ファイリング"を採用。詳細はEGシリーズの"フレットファイリング"の項を参照。




**ボディ**〔Body〕

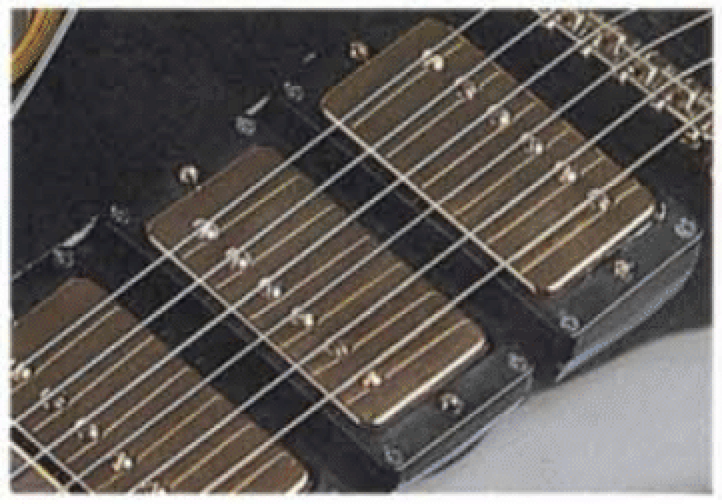
EGCシリーズ最高機種であるEGC58-100は、マホガニー単板の2ピースボディで、メイプルとはまた違った粘りのあるサスティンが得られるスペシャルボディ仕様になっている。エボニーブラックにゴールドコーティッドパーツ、エボニー指板とまさに"ブラックビューティ"と呼ぶにふさわしいスペシャルスペックだ。EGC57-60はコストパフォーマンスを考えてマホガニー単板3ピースを採用。

**ボディバインディング**〔Body Binding〕

流れるような美しいボディにバインディングされたセルには白黒6プライの豪華なものを使用。EGC57-60、EGC58-100にはオールドの経年変化によるヤケ色をつけている。

**ピックアップ**〔Pickups〕

マホガニー単板ボディのEGC58-100には、THE GROOVEを搭載。マホガニーボディの粘りのあるサステインに加え、THE GROOVEのクリヤーでブライトなサウンドだ。EGC68-80には新開発DOUBLE TRICKを、EGC57-60、EGC68-50にはSCREAMINをそれぞれ使用。持ち味をいかんなく発揮、ゴールドピックアップカバーに身を包んでハードなソロからジャージーなソロまでキミの思いのままのプレイに確実に答える頼もしいピックアップ達だ。



**エスカッション**〔Escutcheon〕

EGシリーズ同様、底辺がほぼフラットなフロント$\frac{1}{4}$inch、リア$\frac{1}{2}$inchタイプのブラック仕様だ。ゴールドピックアップカバーとのカラーのバランスも絶妙だ。

**ピックアップホール**〔Pickup Hole〕

ピックアップホールは、音響特性を考えた最少限のホール加工で豊かな響きのロングサステインのツヤのある音の影の立役者だ。このようにピックアップホール加工をはじめグレコプロジェクトチームは、目に見えない部分にこそ十分に研究開発を行なっているのだ。こういう努力がサウンドに大きく貢献していることは言うまでもない。

**コントロールノブ**〔Control Knob〕

EGC57-60、EGC58-100には、フライングソーサーノブのブラックタイプを使用。EGC68-50、EGC68-80にはブラックソンブレロタイプを使用。どちらもプレイヤーの手にしっくりなじみ、微妙なコントロールにも適確に答えるノブだ。

**スイッチノブ**〔Switch Knob〕

EGシリーズと共通のアンバーカラーも渋い材質から形状までパーフェクトなスイッチノブを採用。(EGC57-60、58-100)

**スイッチプレート**〔Switch Plate〕

材質、大きさ、厚み、ロゴともパーフェクトな仕上がりを見せるブラックにゴールドロゴのスイッチプレートで、スイッチ回りの完成度を高めている。

**ブリッジ**〔Bridge〕

ブリッジはEGシリーズと同タイプのものを使用し、ゴールドコーティッドをほどこした豪華なものだ。もちろんサドルはブラス製でロングサステインも思いのままだ。詳細はEGシリーズの"ブリッジ"の項目を参照してほしい。

**テールピース**〔Tail Piece〕

EGC58-100には、アルミダイキャストテールピースを採用。美しいゴールドコーティッドが、エボニーブラックのボディに映え、ライティングによってその美しさは増す。"ブラックビューティ"の再来と呼ぶにふさわしい風格だ。

**ストラップピン**〔Strap Button〕

ストラップピンにはゴールドタイプを使用。ストラップをガッチリとホールドする頼もしいヤツだ。

**カラー**〔Colors〕

EGCシリーズには、EB、CRS、VS、を用意。詳しくはカラー欄を参照していただきたい。

**良いギターには良いケースがつきもの、ケースだってミントが最高さ!**

ギターの種類の多さもさることながら、ケースのバリエーションの量もモノスゴイ。ショルダーケースあり、ハードケースあり、そして極めつけがこのミントハードケースだ。外装は樹脂浸透特殊プライウッド成型による物で(内容については㊙なのでゴカンベン!)。人がその上で飛びはねてもビクともしない。その材料をケースの形に加工する事によりさらに強度が増すように設計されているのだ。内装も特殊な技術を独自で開発し、ギターのスタイルにフィットするようウレタンクッションが成型されている。そしてショッキングピンクのクロスも毛足の長さまでパーフェクトに再現。今までのケースの概念を変えたヘビーデューティなケースがミントコレクションケースだ。名づけてカリフォルニア・ガールズケース。なんとも悩ましいネーミングだ。

**●EG・CAL・Girls Case ¥15,000**

EGのカーブに合わせたアーチドトップケースで、耐加重100kgと、大人2名が乗ってもOKというたいした物。ブラウンレザーの外装にショッキングピンクの内バリといいアーリー50'Sそのものだ。

**●SA・CAL・Girls Case ¥18,000**

EG・CAL・Girls Caseと同仕様のSA用ケース。両者のケースに使用されているビスに注目。ケースに打ち込んだビスが逆にくい込むという特殊製法で、本体の特殊成型と相まって強力なケースだ。

# EJR series

EJR54-50YS

**ヘッド**〔Head〕
スマートでシンプルなルックスのスモールヘッドにロゴはオリジナル同様金文字のGRECOのデカールだ。このヘッドにピッタリとくるペグといえばオールドクルーソンタイプのメタルノブ付につきる。もちろんオリジナル通りだ。そしてチューニングの安定度もこのクラス最高なのは言うまでもない。シンプルなヘッドにシンプルなペグ、これがEJRシリーズの持ち味だ。

**ネック**〔Neck〕
L.A.C.ジョイントによりガッチリジョイントされたマホガニーワンピースネックは音響的にもすぐれた特性を示し、ウォームなサステイン、マイルドなトーンを生みだすベストネックだ。

**指板**〔Fingerboard〕
フィンガータッチの良い良質のローズウッドを使用し、丹念に仕上げられたフィンガーボードだ。フレットにはオリジナル通りにミディアムラウンドタイプを採用。パーロイドドットタイプのポジションマークがシンプルなEJRシリーズにベストマッチングする。

**ボディ**〔Body〕
オリジナルのマテリアルを忠実に再現した最高級マホガニー単板ボディだ。ボディバインディングなし、フラットトップのボディはEGシリーズの血を引くもののシンプルさにかけてはEJRが上だ。マホガニーのネバリにシングルコイルのシャープなサウンドがプラスされてこのモデルならではのサウンドをクリエイトする。

**ピックアップ**〔Pickups〕
パワーとパンチを生み出す強力なHOT LICKをブリッジ側にマウント。シングルコイル独特のハギレの良いサウンドはもうオリジナルを超えたという声もちらほら…。"ドッグイヤー"と呼ばれるこのHOT LICKは、シングルコイルの多くが縦に長くコイルをワインディングするのに対し、横に広くワインディングされ、ポールピースは下部で2本のバー状アルニコマグネットにサンドイッチされ磁力が生じる設計になっている。(オリジナルももちろんのこの設計になっている。)この違いがサウンドに大きく出てくるのだ。

**ブリッジ**〔Bridge〕
ストレートなサウンド、豊かなサステインを生むバータイプを使用。ブリッジとテールピースが一体となったタイプだ。音の歯切れの良さは最高だ。

**コントロールノブ**〔Control Knob〕
シンプルそのもののコントローラー。1ボリューム、1トーンの構成だ。

**ピックガード**〔Pickguard〕
オリジナル同様EJR54-50はブラック1プライを、またEJR59-50Dにはベッコウスタイル1プライピックガードを使用。渋い光沢がシンプルなボディに冴える。

# SA series

SA63-60CH

**ヘッド**〔Head〕
オールド雰囲気ムンムンのシンプルかつビューティフルな、ワンポイントインレイも華麗なスモールヘッドストックだ。ヘッドアングルは全機種18°を採用し現行モデルよりもテンションが強く、メリハリの効いた腰のあるサウンドに大きく貢献している。表面のツキ板もオリジナル通りの0.7㎜メイプルをラミネイト、ルックスもバツグンのヘッドストックの誕生だ。

**ペグ**〔Complete Key Assembly〕
SAシリーズに採用のペグは、EGシリーズと共通のオールドクルーソンタイプで、マテリアルからデザインまで全てオリジナルにパーフェクトな仕上げで正確かつスムーズなチューニングを可能にした。シングルフランジのプッシュ式とダブルフランジプッシュ式の2種類用意し、ペグをホールドするホール加工はグレコプロジェクトチーム自慢の"ダブルシリンダー加工"でガタ、きしみなどシャットアウトしたスーパープロセスだ。

**シリアルナンバー**〔Serial Number〕
ヘッド裏に押されたシリアルナンバーは、EGシリーズと同様にラバースタンプを採用。インクはブラックを使用。

**ネック**〔Neck〕
"THE MINT COLLECTION" 全機種に採用のマホガニーワンピースネックをもちろんSAシリーズにも採用。完璧な品質管理のもとに丹念に生産されたものだけに完成度の高さも高次元だ。ネックの握りもパーフェクトにオールドを再現。握った感じもまったく違和感のない素晴らしい出来ばえだ。

**フレット**〔Frets〕
幅2.7㎜、高さ0.9㎜のワイドオーバルタイプだ。仕上げはアップセット"V"ファイリングで完璧をきしている。

**指板**〔Fingerboard〕
全機種ローズウッド仕様。加工はまずローズのアク抜きから始まり、数段階におよぶサンダーがけという念入りな仕上げになっている。完璧なフレットと相まって滑るようなフィンガリングを保証している。

**ポジションマーク**〔Position Marker〕
SA61-90、SA59-120にはオールドファンが熱愛するパーロイドドットマーカーを採用。Simple is Bestがピッタリとくるタイプだ。またSA63-60にはパーロイドブロックマーカーでラリーカールトンが愛用しているあのタイプ。

**ボディ**〔Body〕
セミアコースティックボディの音を決定する上で最も重要なボディはオリジナル通り、マホガニーをメイプルでサンドイッチしたトリプレックストップ&バックを採用し、音の響き、ふくらみ共、申し分なしのオリガミ付だ。他社機種と生音を聞き比べてほしい。ハッキリその差がでてくることまちがいなしだ。 そしてSA59-120にはバーズアイメイプル使用のトリプレックストップ&バックを採用、超豪華な仕様になっている。バーズアイメイプルはフレイムグレインメイプルと共に世界でも希少なもの。グッドマテリアルのコレクターであるグレコの姿勢をここにも反映!!

**センターブロック**〔Center Block〕
トリプレックストップ&バックを支えているのがメイプルをスプルースでサンドイッチした構造のセンターブロックだ。メイプルブロックの上下に音響的に優れた平行溝(パラレル・ディッチ)を入れたスプルース材をセットしたものだ。このセンターブロックがセミアコマジックとでもいうべき枯れた音色をクリエイトするのだ。

**fホール**〔f Hole〕
fホールに注目!!この穴一つで音が変る。試しに手のひらでふさいでみよう。サウンドの変化にア然とするはず。グレコではこのサイズ、位置とも忠実に再現。トリプレックストップの微妙な振動を効果的にサウンドに変えるのだ。他社の馬鹿デカサイズのfホールは配線の際に手を入れやすくするためのルーズサイズだ。充分に注意する必要あり。

**カッタウェイ**〔Cutaway〕
流れるような独特のダブルカッタウェイがSAシリーズの華麗なボディラインを演出すると共にハイポジションのフィンガリングをスムーズなものにしているのだ。これを名づけて"ミッキーマウスイヤーズ・ベネチアン・カッタウェイ"なんともカワイイ名前じゃないか!!

**ピックアップ**〔Pickups〕
SA59-120には、グレコPickup Seriesの中で、というよりはもう世界のトップレベルのピックアップといってよいDRYを2基マウント、すぐれたボディ構造と相まってハイグレードなトーンをプロデュース。オリジナルと比較して勝るとも劣らないDRYのサウンドをぜひ聞いてもらいたい。SA61-90には、セミアコの音響特性、ボディ用の構造を徹底的に分析し新開発したセミアコ専用のTHE GROOVEを採用しセミアコのボディの響きを魅力的に引き出すことに成功。トリプレックストップとのマッチングも絶妙だ。そしてSA63-60には、コストパフォーマンス最高のSC-REAMINを採用。オールラウンドなこのピックアップはここでもBestなサウンドを提供しているのだ。

**ブリッジ**〔Bridge〕
パーフェクトな完成度を誇るチューンOマチックブリッジを全機種に採用し、正確なオクターブチューニングを保証。ブリッジサドルはもちろんブラスを使用。

**テールピース**〔Tail Piece〕
オリジナルのストップテールピースを忠実に再現したもので、SA59-120、SA61-90にはアルミダイキャスト製をマウントし、テンションアジャストも思いのままだ。

**コントロールノブ**〔Control Knob〕
SA59-120にはオールドカラーバリバリのゴールドフライングソーサーノブを使用。形状、材質、カラーともバッチリ再現。SA61-90、SA63-60にはメタルプレート付フライングソーサーノブを採用。オリジナルに忠実なスタイリングだ。スムーズなコントロールが可能だ。

**ピックガード**〔Pickguard〕
SA59-120にはオールドラージピックガードを使用し、ブリッジまでカバーするたのもしいヤツだ。

# FV series

FV64-80M

**ヘッド**〔Head〕
鋭い角度を持ったシャープな形状の64年オリジナルタイプのスマートなヘッドだ。ヘッドアングルは14°仕様でマウントされるペグはEGシリーズでも評価の高いオールドクルーソンパーロイドノブタイプを使用。64年タイプなのでこちらはダブルフランジノブになるのだ。もちろん"ダブルシリンダー加工"によるプッシュタイプで、ガタ、きしみなどが起こらない精度の高いものなので安心して使ってくれ。

**ネック**〔Neck〕
マホガニーワンピースネックで、マイルドなサステイン、ウォームなトーンを生む素晴しいヤツだ。ナット幅も40㎜のスリムなグリップで手にしっくりとなじむフィーリングはオリジナルとグレコFV64-80だけ。指板はもちろんローズで白蝶貝のポジションマークならではの光の演出が華麗な高級感あふれるスペシャルスペックだ。

**ボディ**〔Body〕
ネーミング通りのVデザインの斬新なボディにはセレクトされたマホガニー材を使用し、厚さ34㎜のオリジナル通りの仕上りになっている。マホガニー独特の厚味のあるサステインが特長だ。ネックジョイントも特長のあるもので、ボディの上にネックが大きく飛び出ているのがそれでオリジナルが持つ大きな特長だ。

**ピックアップ**〔Pickups〕
ポテンシャルの高いボディにマウントされるピックアップは、DRYの血を引く新開発のDOUBLE TRICKだ。気持ちよくアンプリファイされた澄んで抜けるようなハイトーン、粘りのあるロングサステインを満喫してくれ。ボディとのマッチングもベストでマホガニー材の持つ特性を100%フルに出しきるスーパーハムバッキングピックアップだ。もちろんピックアップホールは必要最少限の大きさである。グレコの技術が目に見えないところまで生きづいているのだ。

**ブリッジ**〔Bridge〕
ガッチリとしたスタッドボルトでホールドされたブリッジにはチューンOマチックタイプを使用。ブラスサドルと最良のテンションによってサステインの効いたサウンドが得られる設計になっている。

**テールピース**〔Tail Piece with Vibrola Arm〕
テールピースには、デラックス・バイブローラ・アームを採用。ビブラート奏法も思いのまま。

**ピックガード**〔Pickguard〕
ボディシェイプに合わせた、シャープなシルエットの白黒4Pのピックガードを使用。オリジナルを忠実に再現した素晴しいヤツだ。

**カラー**〔Colors〕
W〔ホワイト〕、M〔マルーンレッド〕の2機種を用意。

# SS series

SS63-70CH

**ヘッド**〔Head〕
SS63-50にはスモールヘッド、SS63-70はラージヘッドにワンポイントインレイ仕様の各タイプを採用。ペグはSS63-50がオールドクルーソンタイプのメタルノブ、SS63-70はオールドクルーソンタイプのパーロイドノブだ。もちろん"ダブルシリンダー加工"によるペグホールドはパーフェクトだ。

**ネック**〔Neck〕
マホガニーワンピースネックを22FでL.A.C.ジョイント。ハイポジションの弾きやすさは抜群で、キミのプレイが冴えること間違いなし、そしてL.A.C.ジョイントによる耐久性もバツグンだ。

**指板**〔Fingerboard〕
2機種共ローズ指板にナロータイプのサイドバインディング仕様だ。スマートな仕上りを見せている。フレットはもちろんワイドオーバルタイプでポジションマークはSS63-50がパーロイドドットタイプ、SS63-70はパケットタイプ。

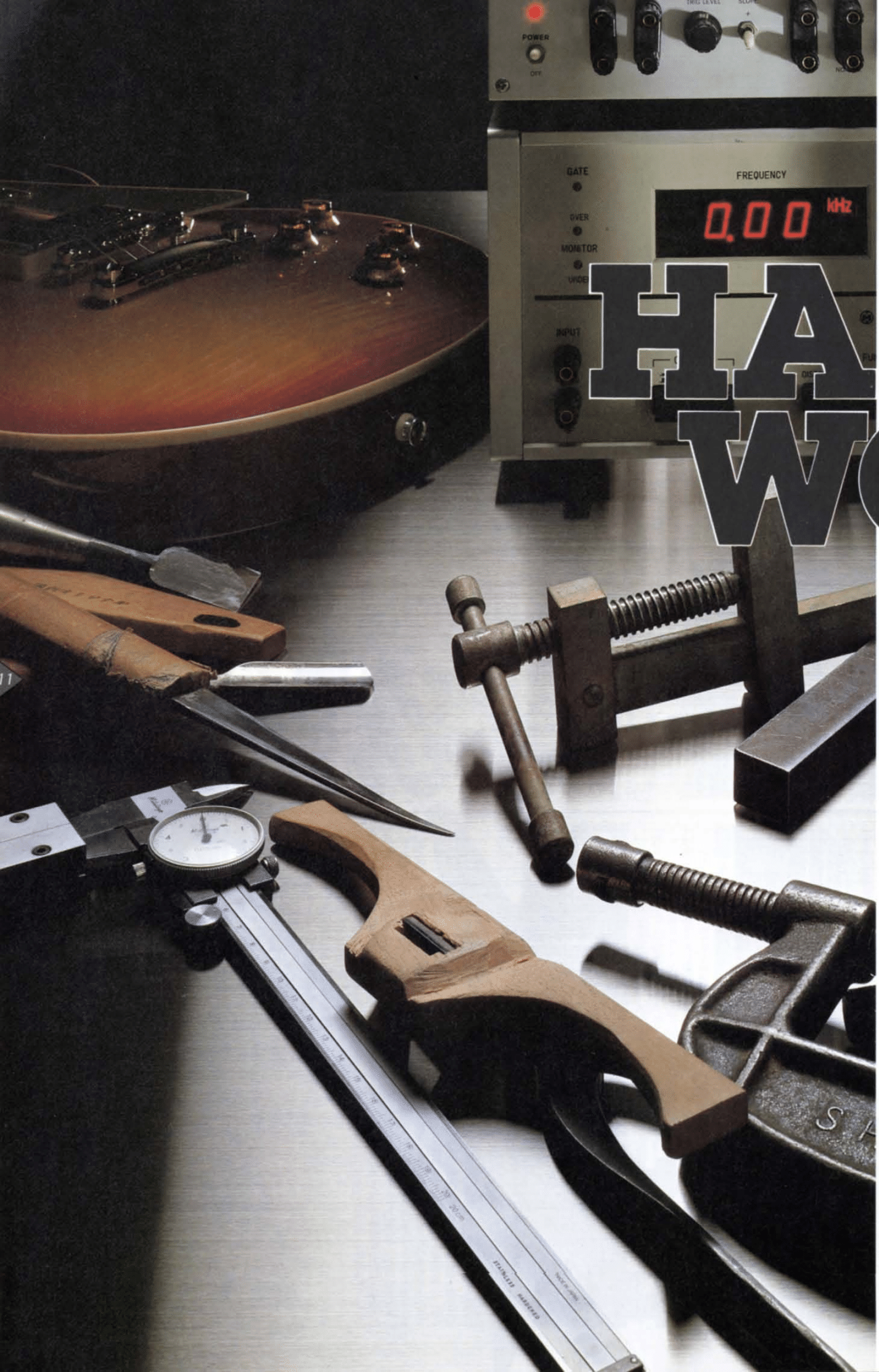
**ボディ**〔Body〕
最高級マホガニー単板のライトなスウィンボディに独特のダブルカッタウェイがシャープさを加える。22Fでのネックジョイントに加え、深くえぐられた大胆なカッタウェイにより、ハイポジションでのプレイのしやすさは絶品だ。

**ピックアップ**〔Pickups〕
SS63-70はハムバッキングPUのSCREAMINをマウントしシャープで粘りのあるサウンドを実現。SS63-50にはHOT LICKを2基搭載、シングルコイルがもつ独特のパワフルでストレートなサウンドが売り物のスグレ物だ。

**ブリッジ**〔Bridge〕
SS63-70にはEGシリーズと共通のチューンOマチックを採用。またSS63-50にはブリッジとテールピースが一体となったバータイプを使用、シンプルなスタイルに好感が持てるものだ。

**テールピース**〔Tail Piece with Vibrola Arm〕
SS63-70にはデラックス・バイブローラ・アームを採用。キミの多才なプレイに充分答えることができるはずだ。

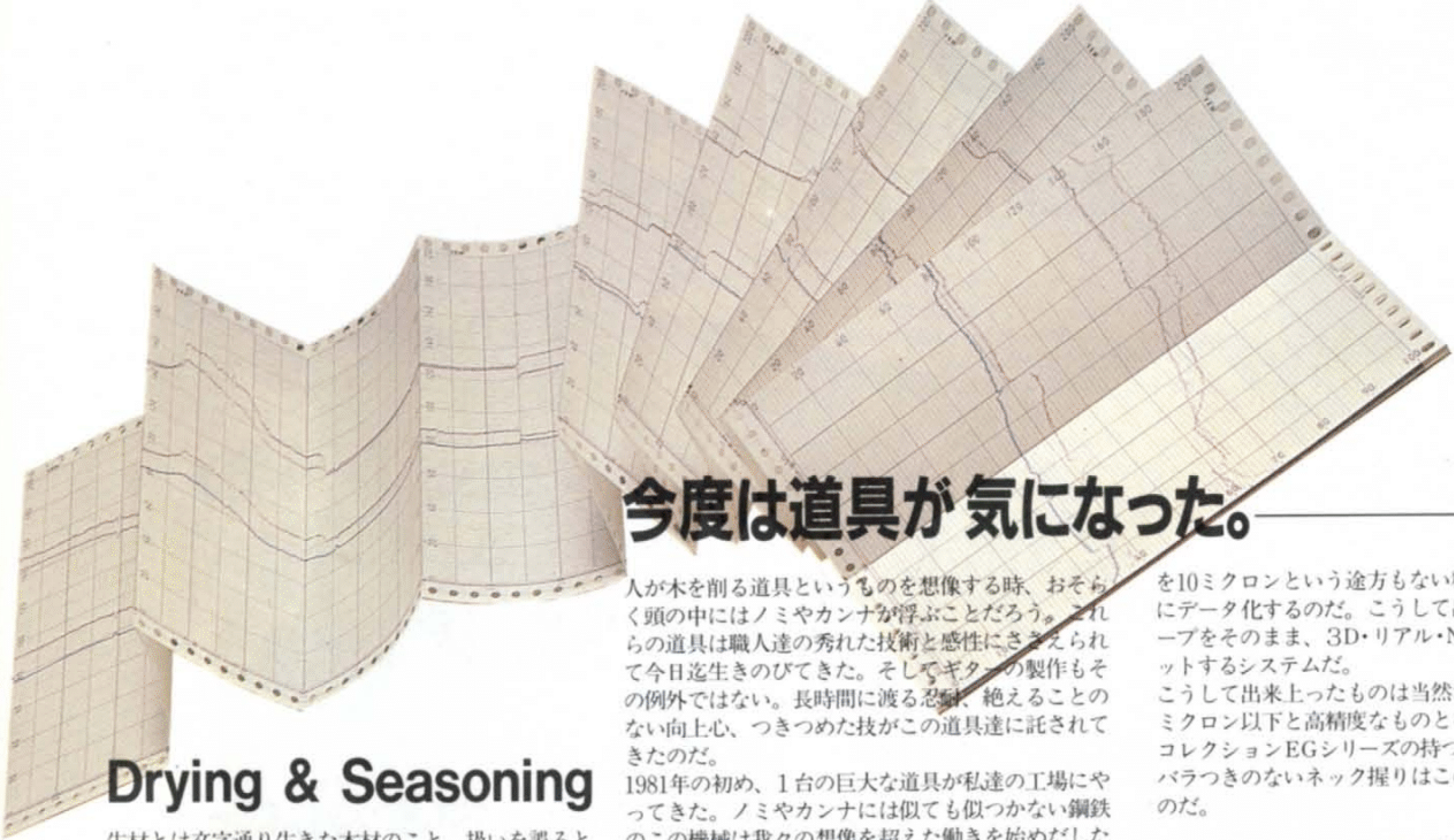
**コントロールノブ**〔Control Knob〕
2機種共、オールドメタルプレート付フライングソーサーノブを使用しスムーズなコントロールを可能にした。




# HARD WOOD

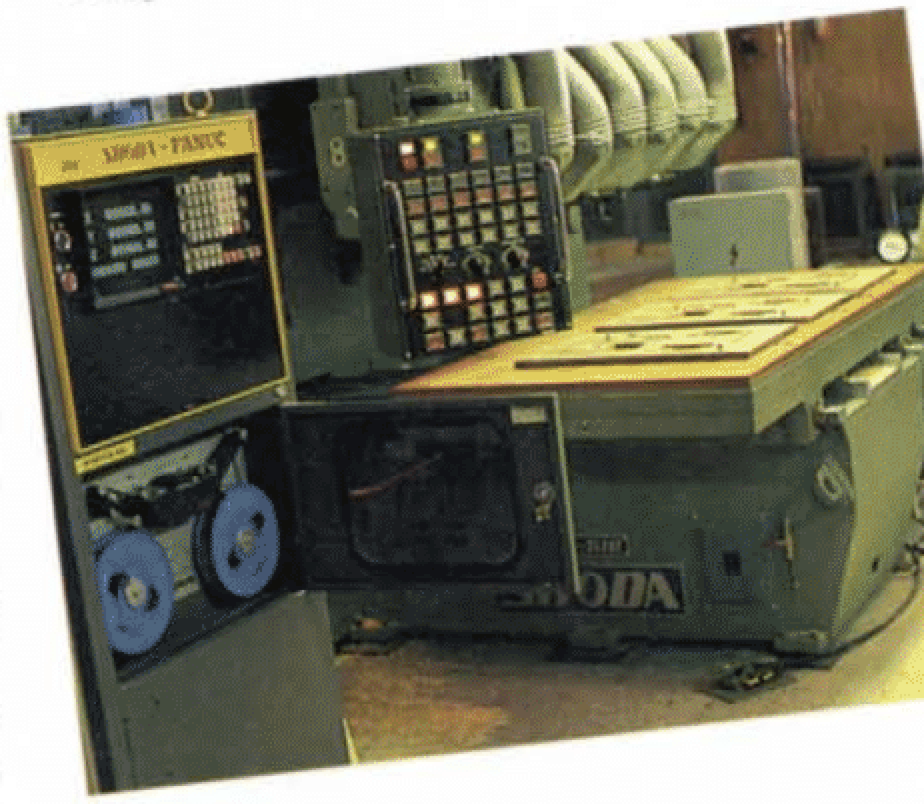
## まず基本を抑えること。木材のグレードとクオリティはその証明になる。

ギターの木部は普通、3～4種類のハードウッドから成っている。素材としてはメイプル、マホガニー、ローズウッド、エボニー、スプルースなどがギター用として適材とされているが、それぞれ原産地によってかなり特性が変化する。例えばメイプルなどは国産の九州楓とカナダ付近のロックメイプルとは想像以上の違いがあるのだ。前者は温暖な気候の地域で育ったため繊維密度の低い柔らかな材で、後者はギター材にふさわしい硬質な音響特性の秀れたものといえる。メイプルはよくネックやボディトップなどに使用されるが、九州楓を使用したネックはCûp、Bow、Crookなどのそり、やせが必ずといってよいほど発生する。特に内部割れなどの目に見えないCallapse(欠損)は楽器そのものの寿命を縮めてしまう。私達のファクトリーにも時折そんな致命的な症状を持ったギターが持ち込まれることがある。私達プロの目からは、これは明らかに作る側の良心の問題だと嘆きたくなるものも多い。外観だけは重箱の隅をつつくようにこまごまとコピーされているのだが基本を踏みはずし数量を追い求める結果で、このような悲劇はやはりメーカーの責任だと感じないではいられない。まず基本を抑えること。グレコがいつも口ぐせのように繰り返し確認し続けているのがこのことなのだ。我々はまず世界中から木材を集める。しかもこの木材はこの地域にしかあり得ないという指定のもとに大量に集積させる。メイプルならカナダ、エボニーならインド、マホガニーならモザンビークというように莫大な量の生材をコレクトする。そして沢山の丸太材の中から木口割れ、表面硬化のないものを選ぶのだが、その選択基準は非常に厳しいものだ。素人目には何故と思うような丸太材が次々と廃棄されていく。木理、肌目、樹形などを基準に際限なく慎重な作業が繰り返されるのだ。基準通過の丸太材は製材され、芯材部、辺材部、桁目、板目に分類される。ここで更に今迄以上の過酷な生材チェックがなされる。この時点ですでに当初の9割以上はチェック落ちされてしまう。しかもこの間の作業はまだほんの入口にしかすぎない。まだ我々のギターボディに完全にふさわしいとは認められてはいないのだ。木材のグレードとは現状の程度をいうのではなく、今後何十年も経過した時点での品質のことをいうのだ。私達はこの自信を裏付けるグレードのものしか認めようとは思わないのだ。



# 今度は道具が気になった。

人が木を削る道具というものを想像する時、おそらく頭の中にはノミやカンナが浮ぶことだろう。これらの道具は職人達の秀れた技術と感性にささえられて今日迄生きのびてきた。そしてギターの製作もその例外ではない。長時間に渡る忍耐、絶えることのない向上心、つきつめた技がこの道具達に託されてきたのだ。
1981年の初め、1台の巨大な道具が私達の工場にやってきた。ノミやカンナには似ても似つかない鋼鉄のこの機械は我々の想像を超えた働きを始めだしたのだ。ミクロンオーダーの精度、厳密な規格性、そのスピーディーでなめらかな動きは我々を驚かせるに十分なものであった。熟練した手仕事でさえ不可能であった数々の問題点を一挙にクリアした我々の新しい道具。スリーディメンション・リアル・NCルーターの登場だ。
我々は当初NCルーターには否定的だった。コンピューター利用の機器の常として、日進月歩の性能の向上に先行の不安を感じたからだ。早々の導入は安定度、加工精度に問題ありとの判断をしたのだ。果して我々の予測は現実のものとなったのだ。その後のNCルーターの性能向上には素晴しいものがあり、4.5年前には多数あった欠点の殆んどが現在解決されている。メーカーによっては精度の低い初期モデルを導入してしまったところもあるが、当然その欠点は出来上った商品に表われてしまうのだ。例えば当初は4ヘッドのモデル(加工軸が4本しかないもの)が一般的だったがどうしても加工上不可能な箇所が出てくる。現在我々が使用しているモデルは6ヘッドタイプだが加工不可能な箇所は全くないといえる。
また各ボディラインやアーチのデータ分析の方法も全く新たなメソッドが確立された。デジタイザーと呼ばれるコンピューターによる新たなカーブ解析機器がそれだ。オリジナルとなるギターの全ての形状を10ミクロンという途方もない精度でパーフェクトにデータ化するのだ。こうして出来上ったデータテープをそのまま、3D・リアル・NCルーターにインプットするシステムだ。
こうして出来上ったものは当然オリジナルと誤差10ミクロン以下と高精度なものとなるのだ。ザ・ミントコレクションEGシリーズの持つ優雅なボディライン、バラつきのないネック握りはこの様にして出来上るのだ。




289: X-2070
Y-14415R520.
F2500

「この数字が何であるかわかるだろうか?」 我々の3D・リアル・NCルーターにインプットされる15,000以上もの信号の1つなのだ。上端から順に説明すると、289―これがデータ番号だ。X―カッティングヘッドの移動方向を示す記号で、ギターヘッドからボトムに下るものがプラス表示、逆に昇っていくのがマイナス表示となる。この場合−2070つまりギターヘッド方向に対して20.70㎜の移動を示している。Y―Xと同じくカッティングヘッドの移動方向を示す。この場合ギターの横方向の表示となり、左がマイナス表示、右がプラス表示になるので、この−14415は左方向に144.15㎜移動するということだ。次のRは半径を表わしている。520―つまり半径52.00㎜の移動ということ。最後のF―2500はカッティングヘッドの移動速度の表示ということだ。

## Drying & Seasoning

生材とは文字通り生きた木材のこと。扱いを誤ると手の付けようのないあばれを生じる。これは、木材自体の重さの30～200%にも達する含有水分に原因するものだ。この水分は次の2種類に分類される。Free Water(自由水)――木材細胞内の単に毛管力によって保有されているもの。Bound Water(結合水)――セルロースのOH基と分子的に結びついているもの。前者は比較的容易に蒸発移動するのだが、後者を平均的に蒸発させるにはかなりのテクニックが必要だ。木材乾燥のカギを握るのがこの Bound Waterの処理なのだ。グレコでは乾燥条件をあまり強くしないで芯材と辺材の含水率の平均化を成し遂げているが、これはこのBound Waterに対する徹底した研究の成果だといえる。生材中の含水率が乾燥の工程によって30%以下になると木材使用上の大きな欠点である収縮を起こし始める。このちぢみが均一に起こるハードウッドはグレードの高いものだと云えるが異方性収縮または不均一な細胞配列からくる本質的な変形を起こす材もある。グレコでは秀れた素材のセレクトをまず基本に今まではほとんど勘に頼るしかなかったこの乾燥工程にも先進技術の導入に成功している。長年の研究の成果を基にしたコンピュータ制御によるドライングスケジュール、サンプリングシュミレーションによるシーズニング工程へのフィードバックなど最新の技術を惜しみなく投入。またドライングの効果は目に見える形として、モイスチャーレコーダー(Moisture Recorder)に自動的にグラフ化されて表われる。昼夜を問わないこのドライング監視システムは我々の仕事に確実性をもたらした。

富士弦楽器製造株式会社
専務取締役 **上 条 欽 用**

まず、あとの事は何とかなると思っていますが、これだけは確実に抑えておかなければならないという私なりの3大ポイントがありましてね。そのひとつが木材のドライングなのです。仕事の関係で東京やロスアンゼルス、フランクフルトなどと違った気候の中で生活する機会が多いのですが、一人の技術屋としてやはりギターボディというものが世界のあらゆる自然の中で常に一定した状態にキープしておけるという事に一番の関心を持っています。確かに一般に考えられている程度の乾燥技術というものはすでに出来上がったと見ても良いのですが、ことギターに関して多くのプロミュージシャンと音の良否を論じた時にその殆んどの問題が木材のドライングに関係していると思いあたる事も多いのです。幸か不幸か我国は四季の変化に富んでおり、狭い国土の割には地域差の激しい気候を有しています。これは木材にとってはかなり過酷な制約といえるのでしょうがこの困難な条件こそが最先端の技術ノウハウを生み出したと思うのです。グレコでは非常に熱心に、またきめ細かくこの研究が進められています。たとえば乾燥中、水分が木材内を移動するメカニズムと木材組織との相互関係をテーマに細胞膜内を通る結合水の拡散や細胞腔内の自由水の流れ、内部蒸気圧の測定の可能性などクオリティの高いユニークな研究の成果が実りつつある状況です。現在市場にあるグレコブランドのギターについて言いますと、その材質の選別、ドライング、シーズニングに関しては相当の水準にあると思います。ただ残念なことに一般ユーザーが楽器店でギターを選ばれる際にこの木材の質についてはあまり考慮されていないと思えるのです。安定していないギターは1年、2年と時間を経るにつれて、そり、狂い、やせなどの欠陥を示してきます。目に見えぬ箇所でも例えば高含水率の木材の接着力は通常の数分の1と非常に低下します。このことが音におよぼす影響は極端なものがあるのです。ちょっとした外観の手直しには、すぐ目が向けられるのだけれどもこうした基本的で地味な努力にあまり注目されていないことも事実だろうと思います。かなり長い時間をかけなければその良否を判断しにくいため、ユーザーの皆さんには選別困難な問題があるのですが、それだからこそメーカーが余程心してかからないといけないのだと考えているのです。エレキギターの歴史を振り返ってみるとその様々なメカニズムの秘密が自然に明らかになってくるにはあまりに時間が浅いように思えます。海外でもせいぜい20～30年の間、国内に於いてもようやく20年の歴史しかないのです。この国内の20年間は我々グレコの20年間だと自負していますが更に今後数十年の間生きつづけるギターを作り出すこと、そしてその長い期間中ずっとユーザーに愛されるギターを生み出すことが我々の使命であり、目標なのだと考えております。――(談)

# PICKUPS

語り出そうとする前にすでに話題となっていた。
声高な宣伝やくどくどした饒舌にも耳を貸さぬ
静かなユーザー達がDRYを認めた。
我々のオフィスに噂が伝わる。
そのしなやかで強靱なパフォーマンスに心を射抜かれた人々の熱い噂が……。

意外に知られていない事だが、国内国外を問わず自社でピックアップを開発し生産しているギターメーカーはあまりない。現に楽器店のショーウインドウを飾る様々なブランドのギターも実は同じ下請パーツ工場で生産されたピックアップをつけている事が多いのだ。当然ボディとピックアップのマッチングに十分な配慮がなされているとは思えないのだ。グレコの開発理念はピックアップを単体としてとらえることを拒否している。なぜならばギターというひとつのマテリアルと有機的に結びついているからなのだ。たとえばネックとピックアップ、弦とピックアップ、ブリッジとピックアップなどというように全てのファクターは相互に深く関係しあっているのだ。グレコではピックアップの開発、生産は当然の事ながらギターボディのそれと同周期に同じファクトリーで行なわれている。この緻密な連携作業がグレコピックアップの卓越した優秀性を形づくったのだ。今やピックアップのリファレンスとさえ認められているDRY。プロの間ではオリジナルを上回るとささやかれ始めている。

気負わず、それが当然だと言い切る自信が我々にはあるのだ。ピックアップは単純だ。ICやLSIで代表される現代のテクノロジーの水準から見れば前世紀の遺物とも思える程の単純明解さなのだ。しかしコンピューターを生み出すテクノロジーがパーフェクトに「あの音」を再現するかと問えば残念ながらその答えはNOでしかない。
楽器の製作とは予期せぬ結果、予期せぬ収獲の連続だ。無数の測定、無数の成分分析、1年の日数を軽く上回る数の試作品。いつしか我々はバイオリンの銘器ストラディバリウスを現代によみがえらせようとする人々のことを思い起こしていた。データではすべて納得しうるのだが、答えは明らかに異ることが多い。いま、「単純なほど難かしいものはない」という言葉をかみしめる。ミクロ的な視点が全体を誤まらせることもあれば人間の耳と勘が完成を遅らせることもあった。グレコは考える。我々自身の歴史の中でこれ程悩み抜いたことも、またこれ程の成果をあげたことも幾度とはなかったはずだ。そしてその苦悩が生み落した多数のアイデアは未来に必ず生かされるはずだと。今、我々はここにすべてのラインナップをあなた達、秀れたプレイヤーに指し示めすことができる。我々のこの新しいピックアップ達はあなたの思うように歌い始めるだろう。まずは手に取って御覧いただきたい。我々の無数の努力の熱い結実を。

# データーの全てを公開するわけにはいきませんが………

### マグネット
ピックアップカバーをはずすと、2つのボビンにはさまれて鈍く輝やく2.5×0.5×1インチの合金がある。これがマグネットだ。オリジナルでさえ年々小型化されていったが、他メーカーのマグネットも小型のものが多いので要注意‼もちろんグレコのラージサイズがジャストオリジナルサイズなのはいうまでもない。サイズに続いてその材質なのだが、多種多様のマグネット材の中でもとりわけ磁束密度の高い強力なアルニコを使用している。他のメーカーではフェライト（アルニコの$\frac{1}{4}$～$\frac{1}{5}$の価格でしかない安物。経年変化を起しやすくパワーもすぐに落ちる）も平気で使用されているし、疑似アルニコともいえる鉄クロム合金（鉄ニッケル、クロムの合金で磁力が弱く、加工の簡単な手間のかからないもの）も高級機種でさえよく使われている。アルニコとは、アルミニュウム、ニッケル、コバルトの合金で、このうちのコバルトは非常に高価であり、原産地アフリカの紛争などで年々入手が困難になりつつあるものだ。メーカーによってはアルニコとは名ばかりのコバルト含有率の低い安物もあるのだ。グレコでは惜しげもなく、高純度アルニコを投入、フルパワー時にもにごりのない引き締ったタイトなサウンドはこのおかげと言える。

### 着磁
アルニコ合金に磁力を与えパワーをつける工程だ。慎重ですばやい確実な作業が求められる。ピックアップのバランスに最も影響の出る工程なのだ。グレコではパーフェクト・DC・マグネタイザーという新開発着磁材を導入。洩れのないスムーズな着磁に成功している。グレコの高価なマグネット素材にふさわしい強力無比な着磁方法だ。

### ボビン
注目して欲しいのがハムバッカーのスクエアウインドウ。ボビンの裏表にある約1㎜四方の小さな窓なのだが、これが実に正確にモデリングされている。またこの窓が少しボビンの中心からはずれているのを御存知の方はいるかな。ルーペでながめるとその細部にわたる徹底したスタイルがよくおわかり頂けると思う。続いてポールピースホールのピッチなのだが、とても音に影響のある箇所だ。他社のオールドコピーものでは適当に開けられている様だが、グレコでは極めて精密に加工されており、ポールピースそれぞれの間隔、配列も見事に再現している。

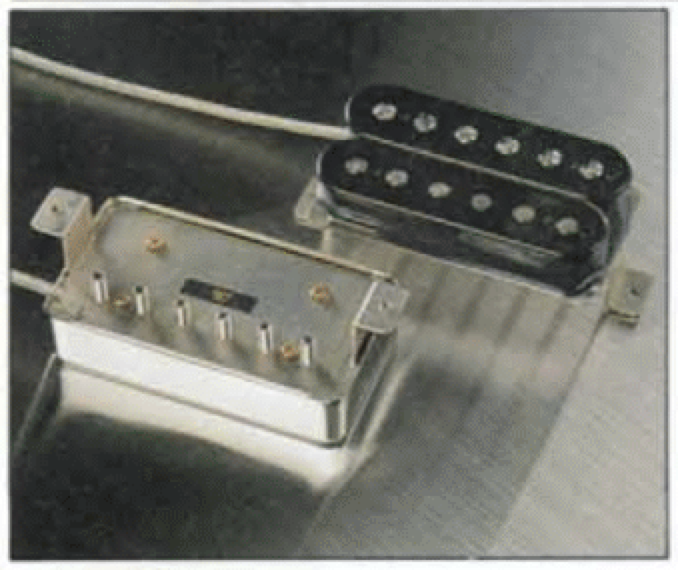
### コイル
他社では逆立ちしても　マネの出来ないAWGオールドアメリカンワイヤーを使用、他に言うこと何もナシ‼

### PUカバー、PUベース
オリジナル通りの白洋銀プレートを採用。反磁性体でしかもサビない。これもまた非常に高価なのだが、マテリアルにはケチらないグレコの姿勢を反映‼なかにはずっと安価な真ちゅう材使用のメーカーもあるが、その比重の高さが音の明瞭度、輝きに悪い影響を与えてしまう。ピックアップカバーのスタイルにも目を向けて頂きたい。エッジ角度のだれないシャープな仕上がりを実現。ペコペコグニャグニャしないスマートなヤツだ。

### ポールピース
肝心かなめのポールピース。質、量、形状、ネジ切りサイズまで徹底追求、恐しいまでの仕上がり、いかに磁束を放出するかを根本からよく考えられた規格となっている。

### コイルワインディング
最後に、コイルの巻付け方法だ。最近は高回転の巻付け機がよく使われているようだが、あまり回転の速いものには問題があるのだ。確かに生産性は良く、コストのかからないやり方なのだが、巻のゆるみを起こしがちになる。またハウリングに弱く音の腰や張りも劣ってしまう。グレコではこの部分にも新しい手法を導入。手巻コイルに匹敵するタイトなワインディングと正確なコイルの並びを実現。微少信号時のレスポンスにその効果がはっきりと表われているのだ。

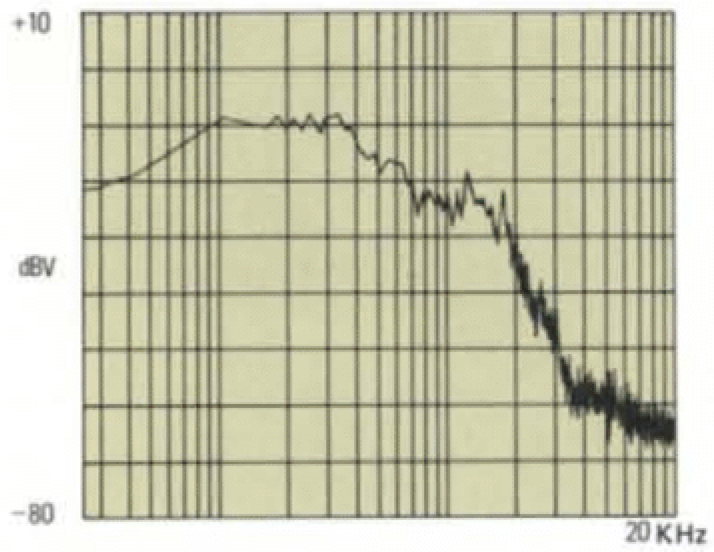
## GRECO PICKUPS SERIES

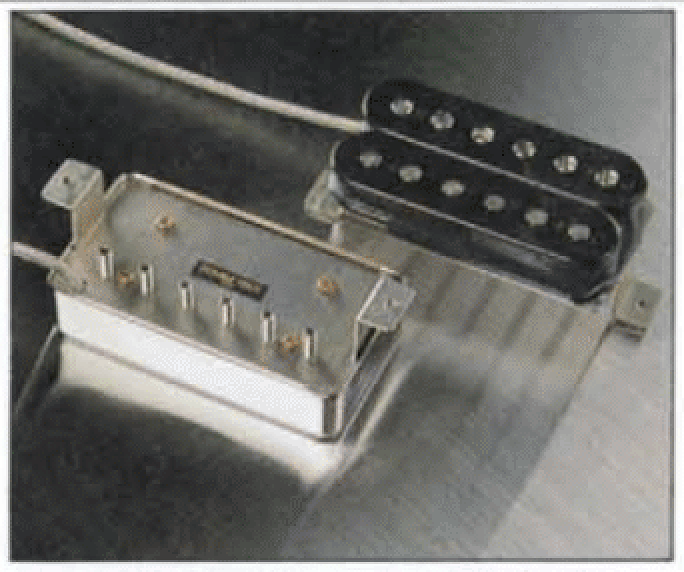


### DRY
〔drai〕
¥20,000

Top of the Line. 傑物。この上は無いと断言し得る最後のピックアップ。

| Impedance | |
|---|---|
| 50Hz(KΩ) | 7.5 |
| 100Hz | 7.8 |
| 500Hz | 15.5 |
| 1,000Hz | 27.5 |
| 2,500Hz | 65.7 |

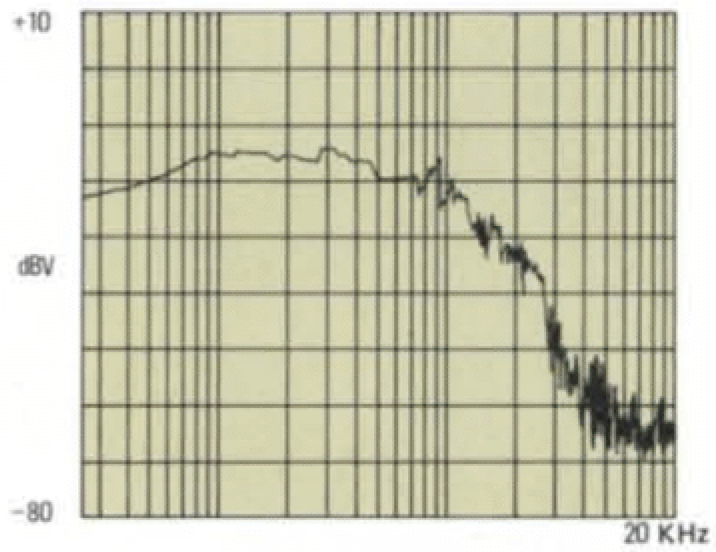


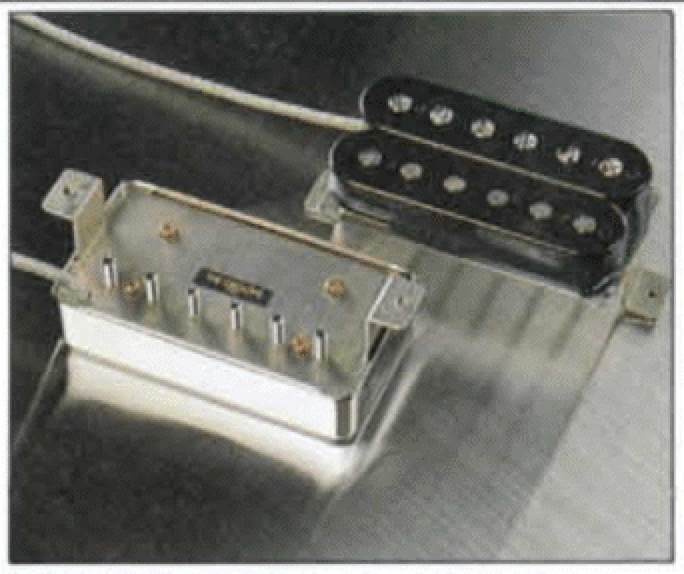



### DOUBLE TRICK
〔dʌ́bl trik〕
¥18,000

二重の罠。倍音表現の巧者。開発ナンバー162B→162個めの完成品.

| Impedance | |
|---|---|
| 50Hz(KΩ) | 7.6 |
| 100Hz | 8.0 |
| 500Hz | 16.3 |
| 1,000Hz | 28.8 |
| 2,500Hz | 67.5 |

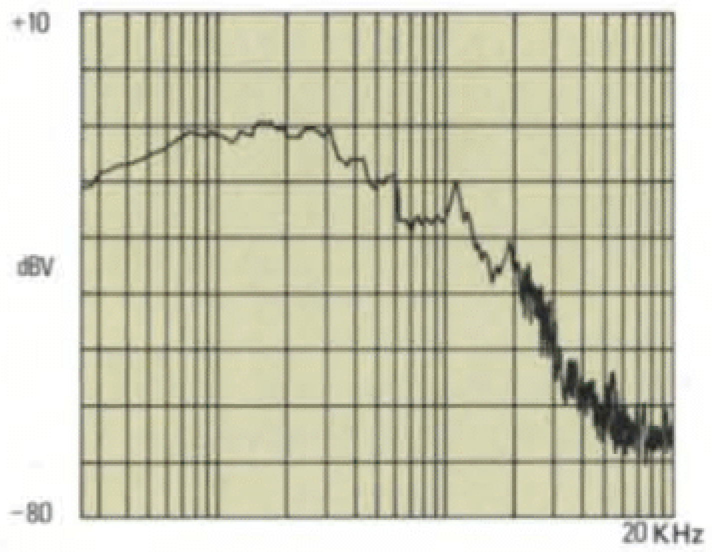


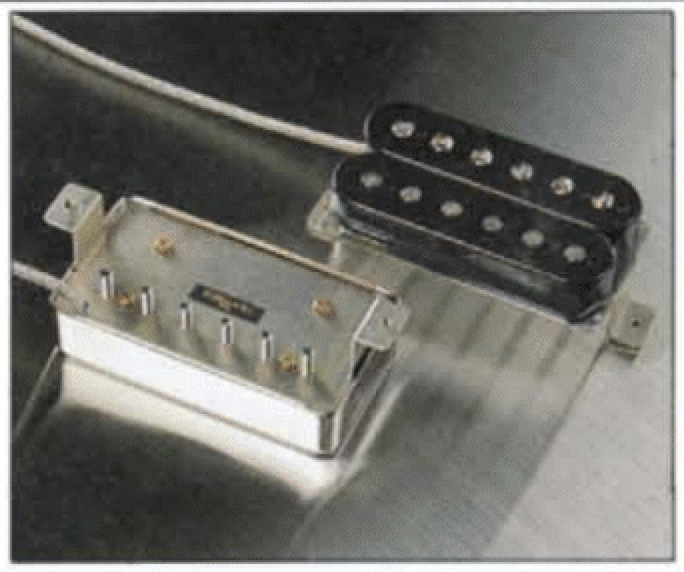



### THE GROOVE
〔ðə gru:v〕
¥16,000

イントネーションはハイ上り。貴婦人のように透明に歌う。マホガニーの椅子でスウィングする。

| Impedance | |
|---|---|
| 50Hz(KΩ) | 7.9 |
| 100Hz | 8.3 |
| 500Hz | 17.2 |
| 1,000Hz | 30.8 |
| 2,500Hz | 73.1 |

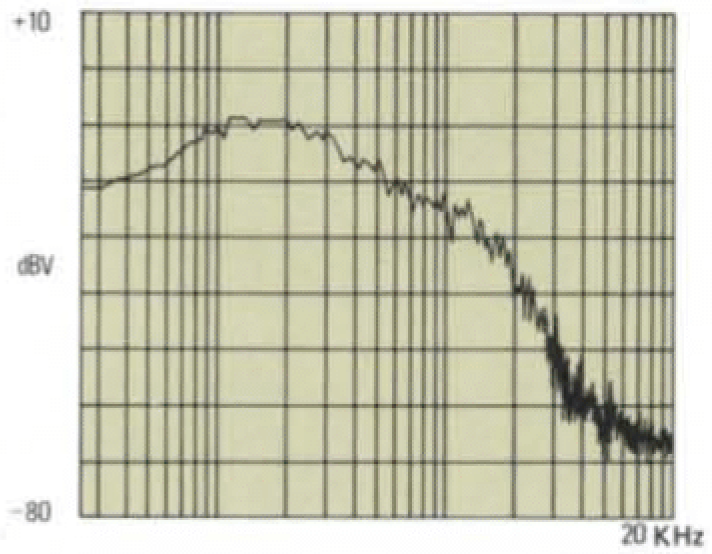


### SCREAMIN'
〔skri:min〕
¥14,000

シャープ&ラウドネス。才能のあるヤンガープラザー。このラインの中ではエキサイティングなバージョン。

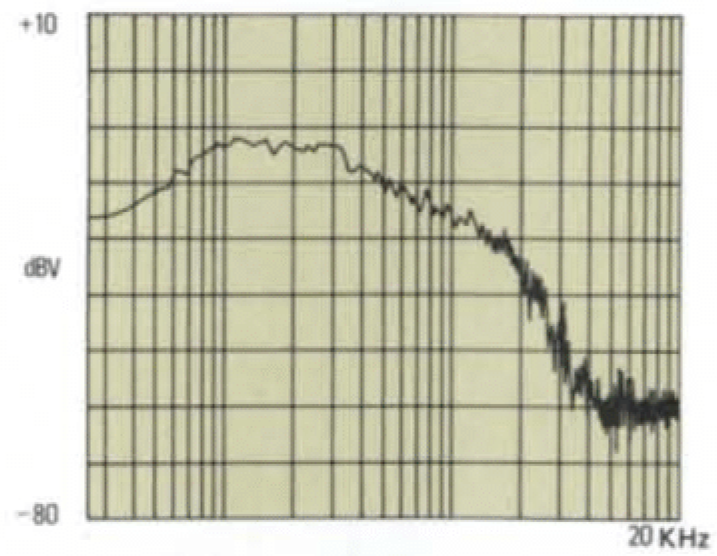
| Impedance | |
|---|---|
| 50Hz(KΩ) | 8.4 |
| 100Hz | 8.8 |
| 500Hz | 16.9 |
| 1,000Hz | 29.2 |
| 2,500Hz | 67.5 |



### HOT LICK
〔hɔt lik〕
¥8,000

52年のソープバー。シャッフルとブギー、ブラック&シルバーのオールナイトストリートファイター。

| Impedance | |
|---|---|
| 50Hz(KΩ) | 7.8 |
| 100Hz | 8.4 |
| 500Hz | 21 |
| 1,000Hz | 39.4 |
| 2,500Hz | 94 |



## COLOR INDEX

| | CRS | FBS | LDS | VS | S | EB | G | W | CH | YS | LM | N | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| EG59-45 | ● | ● | ● | | | ● | | | | | | | |
| EG59-50 | ● | ● | ● | | | △ | | | | | | | |
| EG57-50 | | | | | | | ● | | | | | | |
| EG56-60 | | | | | | | ● | | | | | | |
| EG59-70 | ● | ● | ● | | | | | | | | | | |
| EG59-85 | ● | ● | | | | | | | | | | | |
| EG59-100 | ● | ● | | | | | | | | | | | |
| EG58-120 | | ● | ● | | | | | | | | | | |
| EG60-150 | ● | ● | | | | | | | | | | | |
| EG60-180 | ● | ● | | | | | | | | | | | |
| EGC68-50 | ● | | | ● | | ● | | | | | | | |
| EGC57-60 | | | | | | ● | | | | | | | |
| EGC68-80 | ● | | | ● | | ● | | | | | | | |
| EGC58-100 | | | | | | ● | | | | | | | |
| EJR54-50 | | | | | | | | ● | | ● | ● | | |
| EJR59-50D | | | | | | | | | ● | | ● | | |
| SS63-50 | | | | | | | | ● | ● | | | | |
| SS63-70 | | | | | | | | | ● | | | | |
| SA63-60 | | | | | ● | | | | ● | | | | |
| SA61-90 | | | | | ● | | | | ● | | | | |
| SA59-120 | | | | | ● | | | | | | | ● | |
| FA67-70 | | | | | ● | | | | | | | ● | |
| FV64-80 | | | | | | | | ● | | | | | ● |
| TB64-80 | | | | | ● | | | | | | | | |

GRS：チェリーレッドサンバースト
FBS：フェイドブラウンサンバースト
LDS：レモンドロップサンバースト
VS：バイオリンサンバースト
S：サンバースト
EB：エボニーブラック
G：ゴールド
W：ホワイト
CH：チェリーレッド
YS：イエローサンバースト
LM：ライムドマホガニー
N：ナチュラル
M：マルーンレッド


*STUFF:*

*Producer* — *Yuichiro Yokouchi*
*Master planner* — *Masayuki Suzuki*
*Product manager* — *Yoshimochi Kamijo*
*Asatomo Nakata [Hard wears]*
*Yukimitsu Takayama [Woods]*
*Toshihide Ushimaru [Pickups]*
*Takatoshi Nakamura [Process]*
*Kazuhiko Yasukawa*
*Shoji Yokouchi*
*Yukio Sekihara*
*Jun Takano*
*Takashi Horiuchi*
*Shunji Kawaguchi*
*Creative director* — *Takashi Horiuchi*
*Art director* — *Shunji Kawaguchi*
*Designer* — *Shunji Kawaguchi*
*Motohide Mabuchi*
*Hideyoshi Kouzi*
*Design studio HIDE*
*Copy writer* — *Takashi Horiuchi*
*Photo director* — *Shunji Kawaguchi*
*Photographer* — *Koji Yoshida*
*Assistant photographer* — *Keiji Fujita*
*Stylist* — *Masayo Yoshimura*
*Photo studio* — *Sun studio*
*Yoshida studio*
*Finish worker* — *Osamu Mabuchi*
*Yoko Shiozaki*
*Toshiro Baba*
*Phototype grapher* — *Hideaki Watatani*
*Shigehiro Ogino*
*Scanning center* — *Sumita Seihan Co.,Ltd.*
*Offset print* — *Ishimoto Shiko Co.,Ltd.*
***Great thanks to our Boss*** — ***Chitoshi Kojima***


*Dealer:*

●製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。このカタログ内容はS.57.5.15現在のものです。
●印刷インクの性質上、実際の色調とは異って見える場合もあります。
●カタログ及び製品に関するお問い合せは株式会社神田商会まで。


Greco®
ELECTRIC GUITAR & BASS
富士弦楽器製造株式会社

株式会社 神田商会 〒101 東京都千代田区神田鍛冶町3-4-2 ☎03(254)3641 〒335 埼玉県戸田市美女木2613 ☎0484(21)0126 〒541 大阪市東区北久宝寺町5-51 ☎06(241)1181 〒060 札幌市中央区大通り東7-1-114-119 ☎011(221)8291



*Copyright 1982. JUNE-GKO50*